

佐倉市人口推計

平成 26 年 11 月

目 次

1.	はじめに	1
2.	佐倉市の人口動向	2
	(1) 人口の推移（住民基本台帳による動向）	2
	(2) 人口動態	3
	(3) 世帯数の推移	9
	(4) 地区別人口の推移	10
3.	推計方法	12
	(1) 推計手法	12
	(2) 使用するデータ	12
4.	全市推計結果	15
	(1) 総人口	15
	(2) 年齢別人口	16
	(3) 年齢別人口比率	17
	(4) 世帯数の推計	21
5.	地区別人口の推計	22
	(1) 佐倉地区	26
	(2) 臼井地区	28
	(3) 志津地区（北部）	30
	(4) 志津地区（南部）	32
	(5) 根郷地区	34
	(6) 和田地区	36
	(7) 弥富地区	38
	(8) 千代田地区	40

1. はじめに

佐倉市は、都心から 40 km、成田空港から 15 km、千葉市から 20 km という地理的条件の良さに加え、豊かな自然環境が残っており、また、城下町として栄えてきた長い歴史の中から築き上げられた文化・芸術分野の地域資源も豊富である。

このような環境の中、「歴史 自然 文化のまち」として順調に人口が増加してきたが、近年では、日本全体の人口が減少基調に転じる中、全国的な少子高齢化や都心回帰の動きなどにより、本市の人口増も徐々にその勢いを失い、平成 23 年をピークに減少局面へと突入している。

こうした状況を踏まえ、近年の人口動向を的確に把握して、今後、持続可能なまちづくりを行っていくために、平成 22 年に行った人口推計を見直すこととした。

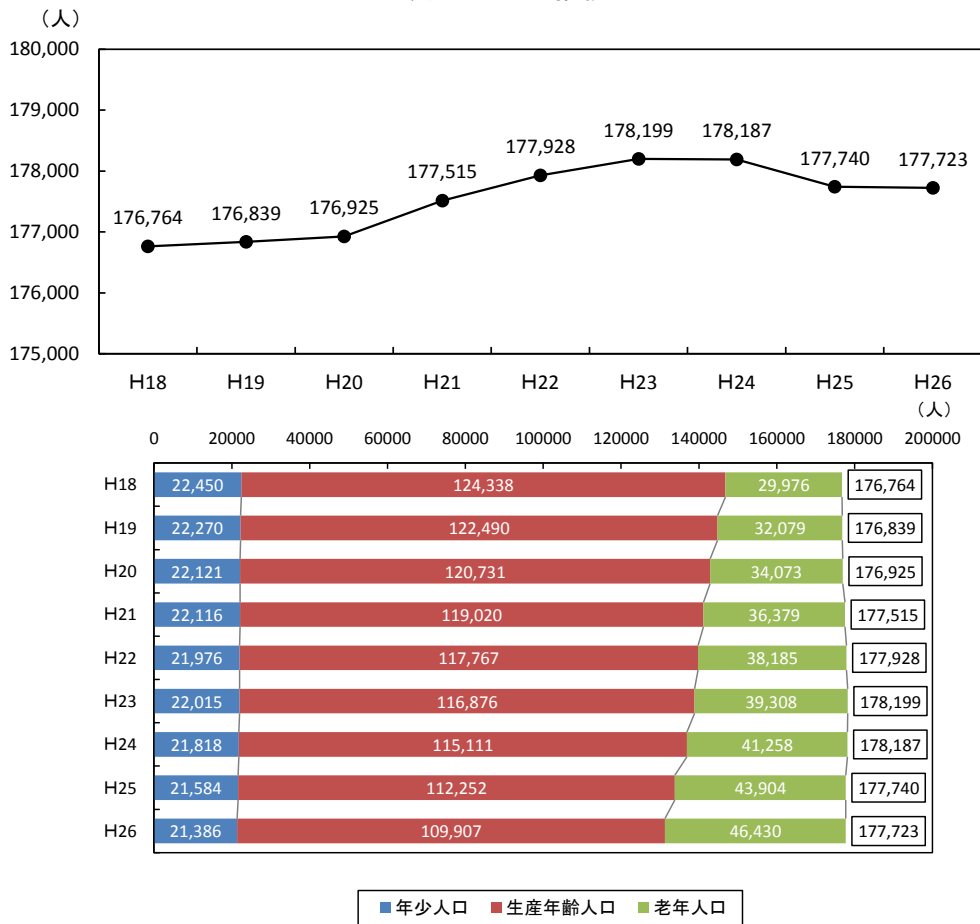
2. 佐倉市の人口動向

(1) 人口の推移（住民基本台帳による動向）

本市では、これまで緩やかに人口が伸びてきたが、平成23年の178,199人をピークに減少局面に入り、平成26年には177,723人と、4年前の平成22年の177,928人を下回った。平成26年の人口は、ピーク時の平成23年比では、▲476人の減少となっている。

平成18年以降の年齢3区分別人口をみると、65歳以上の老年人口は増加の一途をたどる一方で、生産年齢人口は減少を続けている。年少人口は、22,000人前後で推移しながらも、ここ数年はゆるやかに減少している。（図表1）

図表1 人口の推移



各年3月31日現在

	総人口	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	老年人口 65歳以上
H18	176,764	22,450	124,338	29,976
H19	176,839	22,270	122,490	32,079
H20	176,925	22,121	120,731	34,073
H21	177,515	22,116	119,020	36,379
H22	177,928	21,976	117,767	38,185
H23	178,199	22,015	116,876	39,308
H24	178,187	21,818	115,111	41,258
H25	177,740	21,584	112,252	43,904
H26	177,723	21,386	109,907	46,430

(資料:住民基本台帳人口)

(2) 人口動態

1) 自然動態

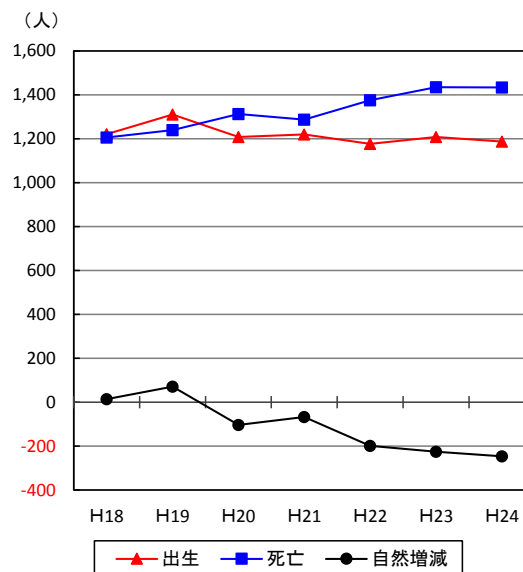
本市の出生数は、近年、1,200人前後で推移している。一方、死亡数は、高齢者の増加とともに増加傾向にあり、平成24年には1,433人と、平成18年の1,206人から227人の増加となっている。

その結果、平成19年まで自然増が続いていたが、平成20年は▲104人と自然減へと転じ、以降も自然減の減少傾向は拡大傾向にある。(図表2)

図表2 自然動態

各年間値			
	出生	死亡	自然増減
H18	1,220	1,206	14
H19	1,310	1,239	71
H20	1,208	1,312	▲ 104
H21	1,219	1,287	▲ 68
H22	1,176	1,375	▲ 199
H23	1,208	1,434	▲ 226
H24	1,187	1,433	▲ 246

※外国人を除く
(資料:住民基本台帳人口)



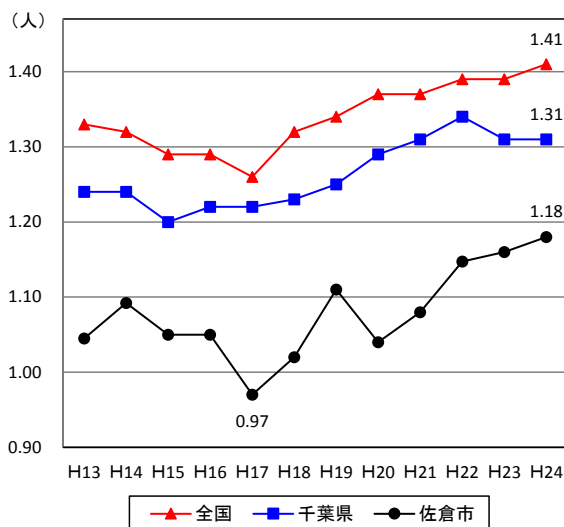
今後も、合計特殊出生率の低迷(図表3)や出産適齢期の女性人口の減少(図表4)により、出生数の大きな改善は見込めない。また、平均寿命は延びているものの、高齢者の増加に伴って、死亡数も増加するものと見込まれる。(図表5)

こうしたことから、自然減がさらに拡大していくものと考えられる。

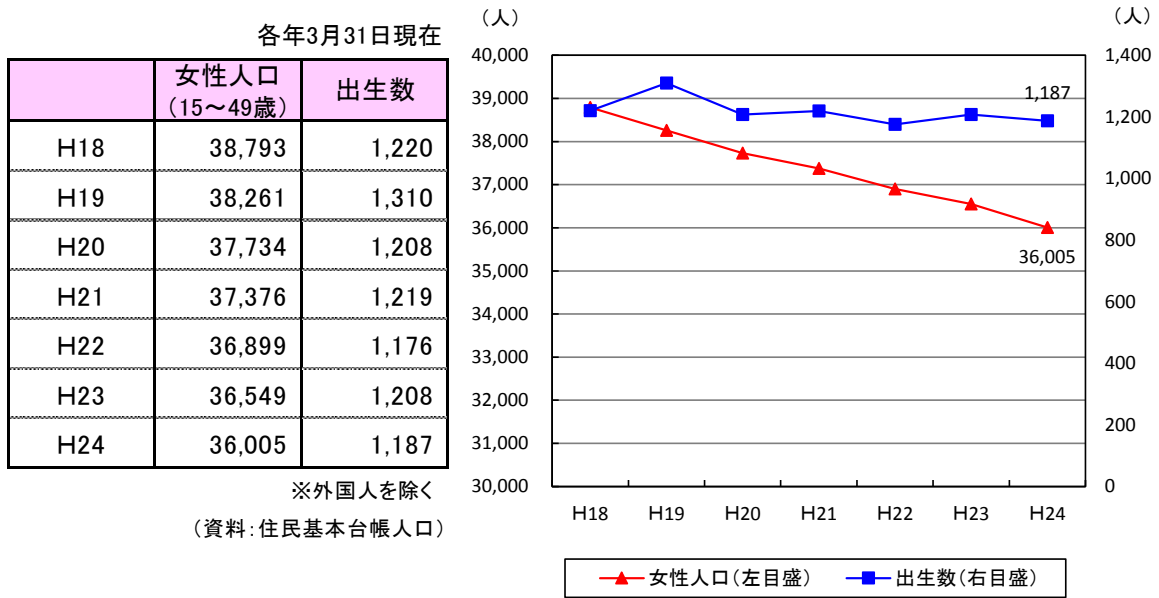
図表3 合計特殊出生率の推移

	全国	千葉県	佐倉市
H13	1.33	1.24	1.05
H14	1.32	1.24	1.09
H15	1.29	1.20	1.05
H16	1.29	1.22	1.05
H17	1.26	1.22	0.97
H18	1.32	1.23	1.02
H19	1.34	1.25	1.11
H20	1.37	1.29	1.04
H21	1.37	1.31	1.08
H22	1.39	1.34	1.15
H23	1.39	1.31	1.16
H24	1.41	1.31	1.18

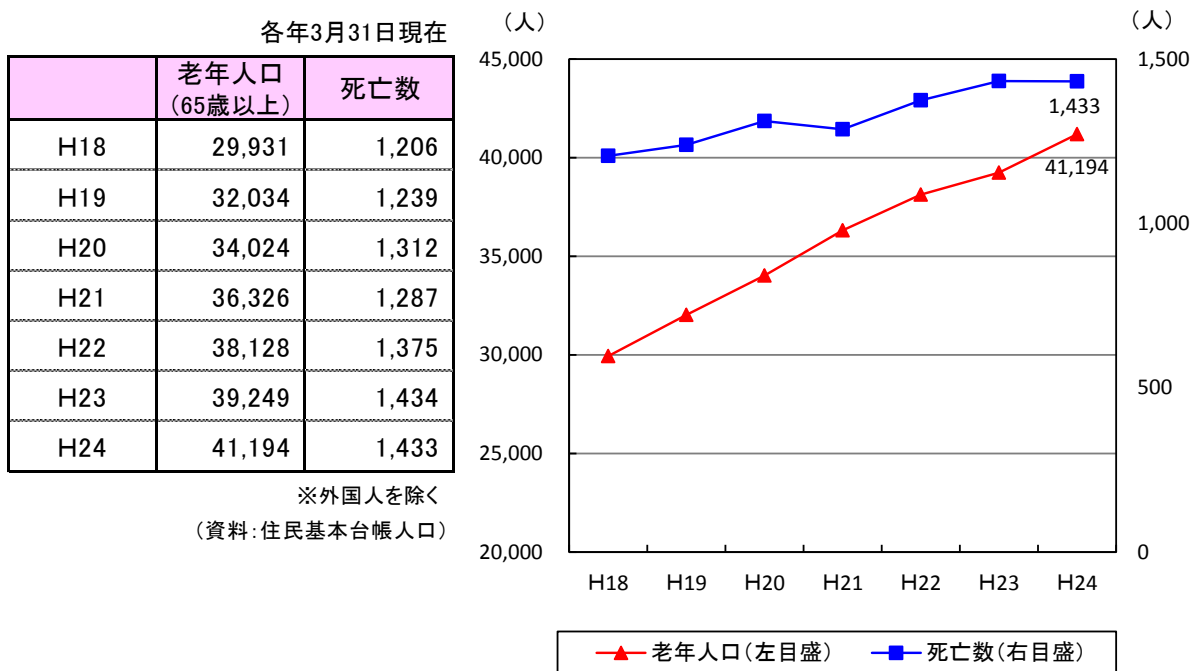
(資料:千葉県厚生統計調査)



図表4 15～49歳の女性人口と出生数の推移



図表5 老年人口と死亡数の推移



また、佐倉市の総人口に占める15～49歳の女性人口の割合について、国勢調査結果を利用して、全国、千葉県および近隣市（成田市、四街道市、八千代市）と比較した。（図表6）

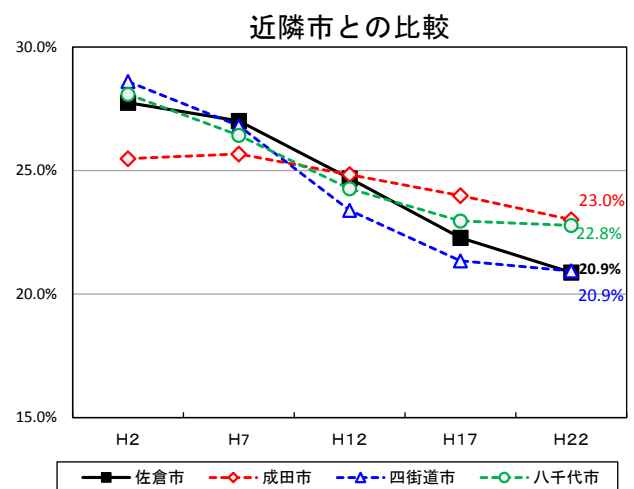
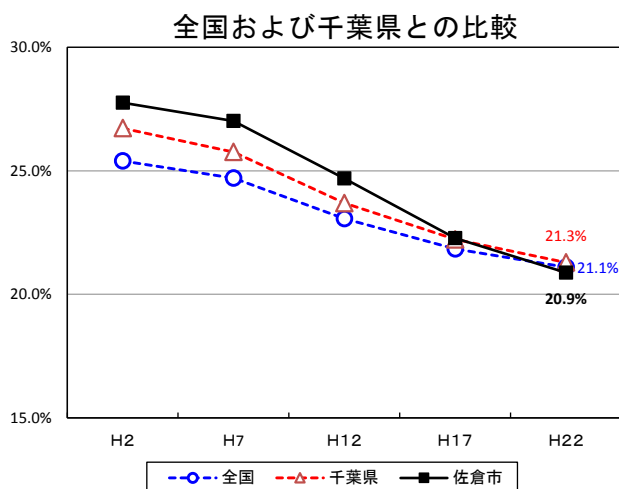
全国、千葉県、佐倉市のいずれも低下傾向を示しており、平成17年までは、佐倉市の総人口に占める15～49歳の女性人口の割合はわずかながら全国や千葉県よりも高かったが、平成22年の調査結果では、全国、千葉県を下回った。

また近隣市についても、跛行性はあるものの、佐倉市と同様に低下傾向にある。

図表6 総人口に占める15～49歳の女性人口の割合の推移

		H2	H7	H12	H17	H22
全 国	総人口	123,611,167	125,570,246	126,925,843	127,767,994	128,057,352
	女性人口 (15～49歳)	31,394,340	31,019,741	29,276,086	27,900,297	27,019,649
	比率	25.4%	24.7%	23.1%	21.8%	21.1%
千 葉 県	総人口	5,555,429	5,797,782	5,926,285	6,056,462	6,216,289
	女性人口 (15～49歳)	1,484,640	1,493,539	1,404,052	1,345,947	1,323,391
	比率	26.7%	25.8%	23.7%	22.2%	21.3%
佐 倉 市	総人口	144,688	162,624	170,934	171,246	172,183
	女性人口 (15～49歳)	40,155	43,930	42,200	38,151	35,941
	比率	27.8%	27.0%	24.7%	22.3%	20.9%
成 田 市	総人口	105,855	112,662	116,898	121,139	128,933
	女性人口 (15～49歳)	26,972	28,920	29,033	29,057	29,668
	比率	25.5%	25.7%	24.8%	24.0%	23.0%
四 街 道 市	総人口	72,157	79,495	82,552	84,770	86,726
	女性人口 (15～49歳)	20,638	21,316	19,309	18,095	18,156
	比率	28.6%	26.8%	23.4%	21.3%	20.9%
八 千 代 市	総人口	148,615	154,509	168,848	180,729	189,781
	女性人口 (15～49歳)	41,738	40,833	40,969	41,493	43,230
	比率	28.1%	26.4%	24.3%	23.0%	22.8%

（資料：国勢調査）



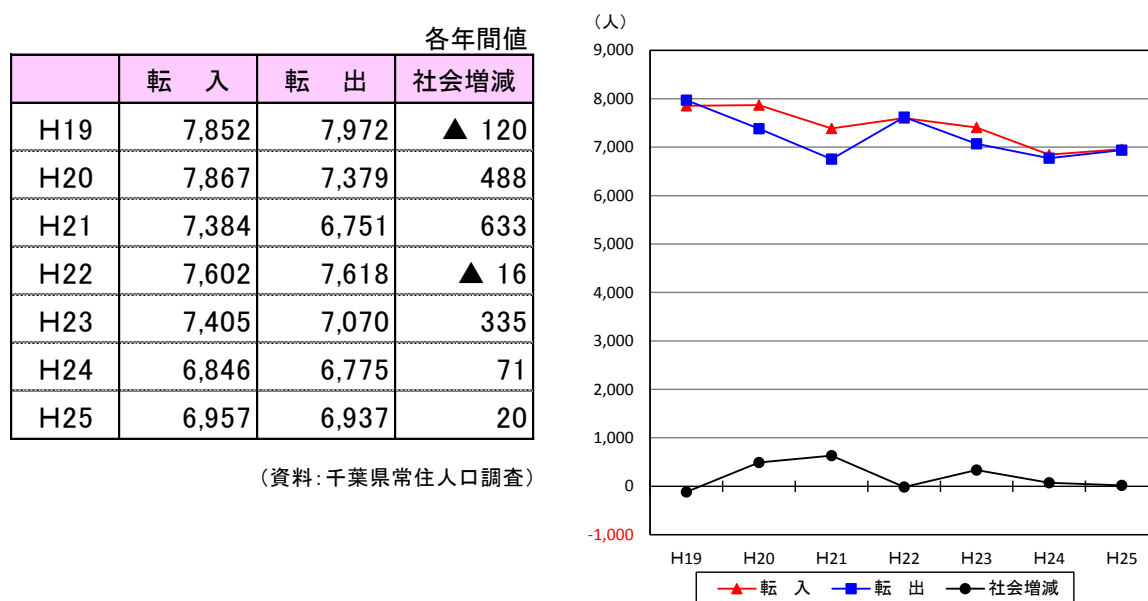
2) 社会動態

転入数は減少傾向にあり、平成23年までは年間7,000人超が本市に転入していたが、平成24年には6,846人と7,000人を割った。(図表7)

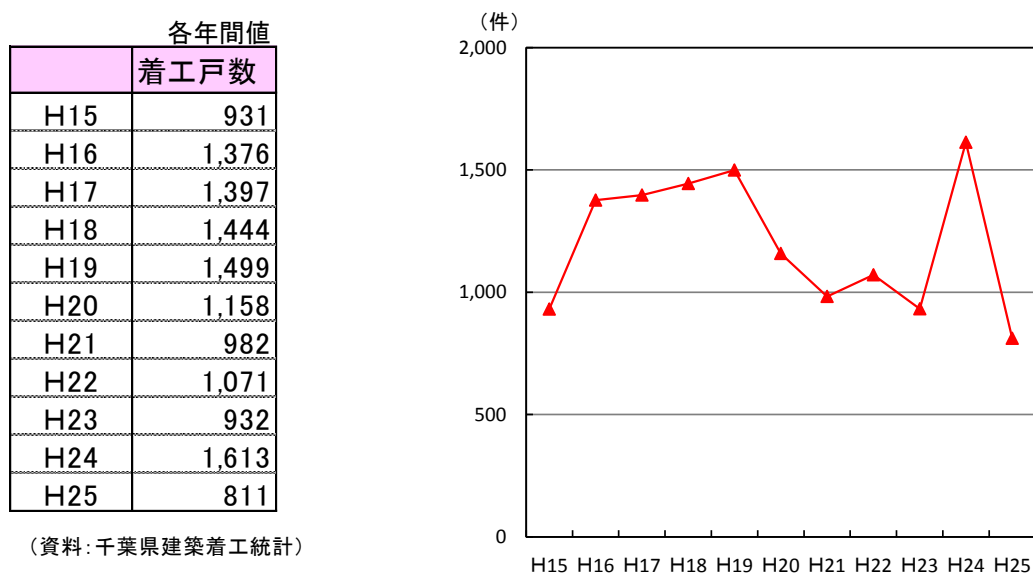
ここ10年間の新規住宅着工戸数が800~1,600件で推移する中(図表8)、平成24年に大型マンションが2棟(合計約600戸)着工したこともあり、平成25年の転入数は前年比111人増となっている。

一方、転出数も転入数と同様、減少傾向にあり、平成24年、平成25年は転入数と転出数がおおむね均衡している。

図表7 社会動態



図表8 新規住宅着工戸数の推移

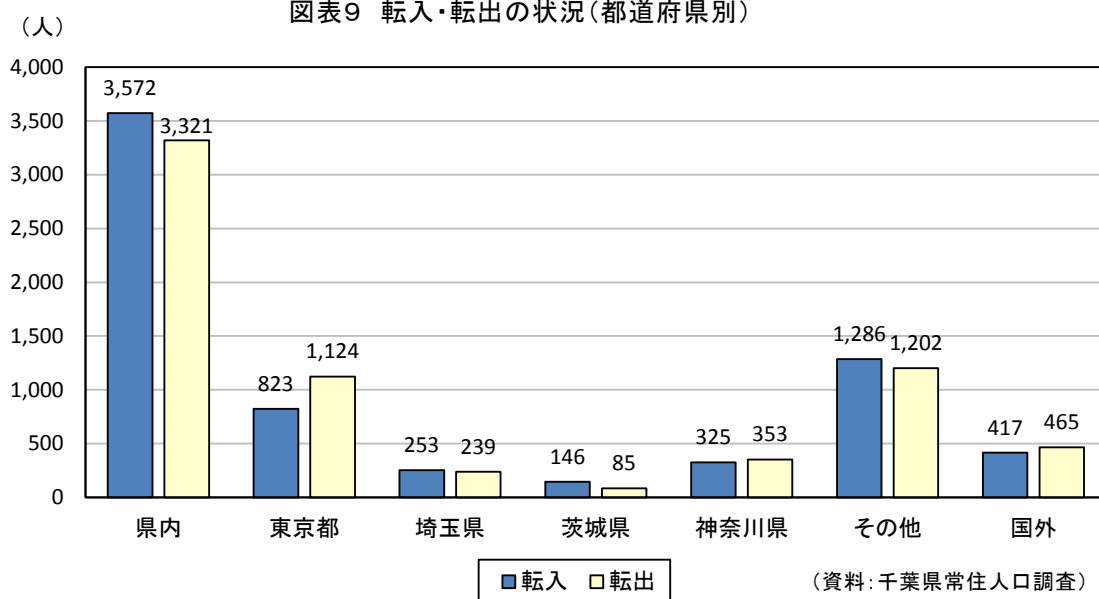


「千葉県常住人口調査」における直近1年間（平成25年1月1日から平成26年1月1日）の転入・転出状況について、転入元と転出先を都県別に見ると、図表9のとおり県内での転入・転出がともに3,000人を超えている。

県外については、近隣都県との転入・転出傾向が強く、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県と続いている。

また、県内においては転入超過であるが、近隣都県においては対東京都、対神奈川県では転出超過となっており、都心回帰の傾向が見受けられる。（図表9）

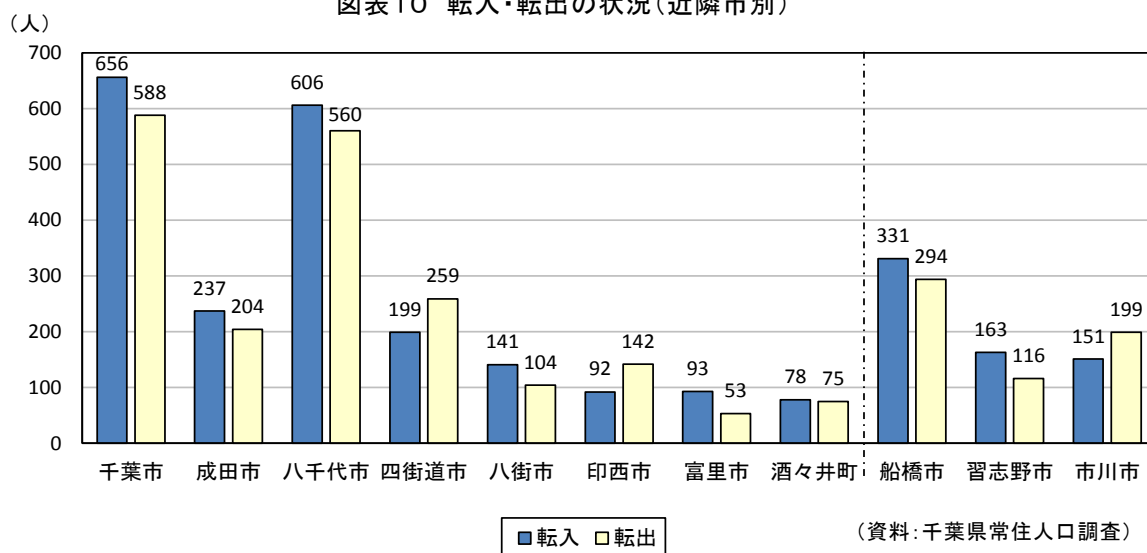
図表9 転入・転出の状況（都道府県別）



さらに、県内の転入元・転出先について近隣市町村別に見ると、千葉市が最も多く、八千代市、四街道市、成田市と続く。

また、上記以外の県内市町村では、船橋市、習志野市、市川市との転出・転入の動きが大きい。（図表10）

図表10 転入・転出の状況（近隣市別）

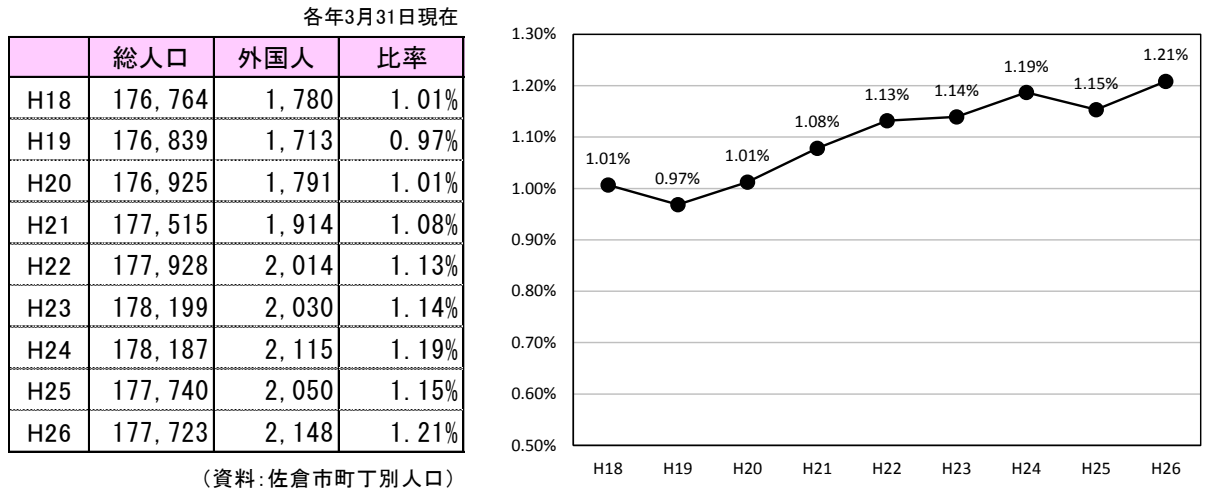


《参考》外国人人口の推移

佐倉市の総人口に占める外国人の割合はゆるやかな上昇傾向にあり、平成26年には1.21%となっている。

実数で見ると、平成22年に2,000人を超え、平成26年には2,148人とここ8年間で368人増加している。(図表11)

図表11 総人口に占める外国人人口の推移

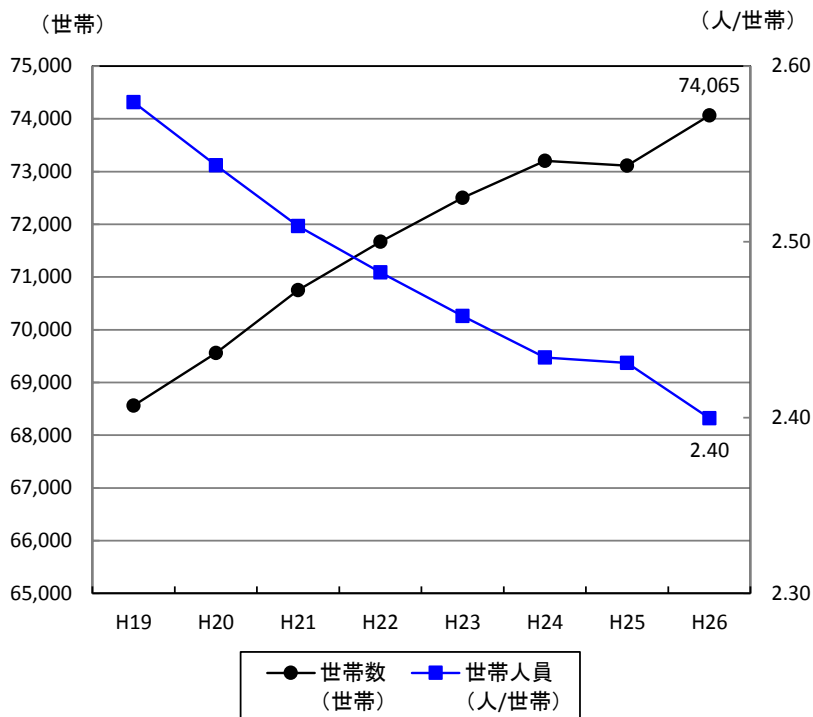


(3) 世帯数の推移

世帯数の推移をみると、平成26年3月末現在で74,065世帯となっており、人口の増減に関わらず、世帯数は増加傾向が続いている。

一方、世帯人員は減少傾向にあり、平成26年は1世帯あたり2.40人となっている。(図表12)

図表12 世帯数の推移



各年3月31日現在

	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人/世帯)	総人口 (人)
H19	68,558	2.58	176,839
H20	69,561	2.54	176,925
H21	70,751	2.51	177,515
H22	71,669	2.48	177,928
H23	72,501	2.46	178,199
H24	73,204	2.43	178,187
H25	73,112	2.43	177,740
H26	74,065	2.40	177,723

(資料:住民基本台帳)

(4) 地区別人口の推移

佐倉市を下記のとおり8つの地区に分けて地区別人口の推移を見る。(図表1.3)

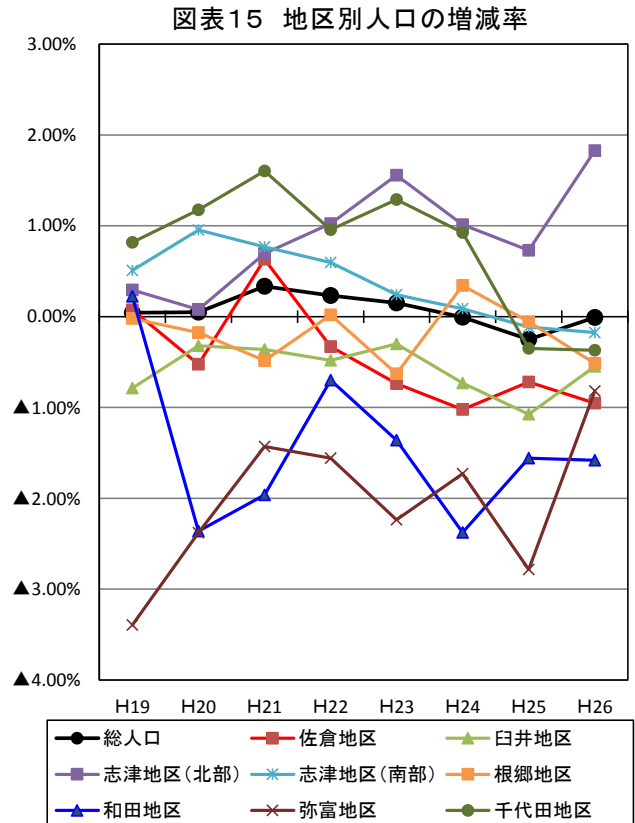
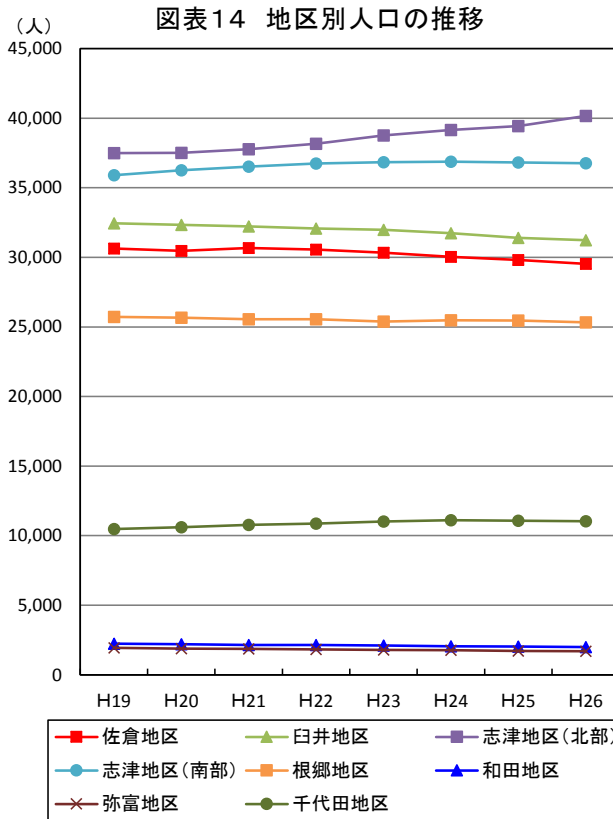
図表13 佐倉市内8地区



佐倉地区	田町 新町 野狐台町 大蛇町 千成1～3丁目 岩名 飯野 下根町 飯田台	海隣寺町 裏新町 鍋山町 藤沢町 大佐倉 萩山新田 飯野干拓 鹿島干拓 白銀1～4丁目	並木町 中尾余町 本町 栄町 大佐倉干拓 萩山新田干拓 飯野町 上代 鐘木仲田町	宮小路町 最上町 樹木町 城内町 飯田 土浮 下根 高岡	鐘木町 弥勒町 将門町 鐘木町1～2丁目 飯田干拓 土浮干拓 山崎 宮前1～3丁目
臼井地区	臼井 江原新田 新臼井田	臼井田 角来 江原台1～2丁目	臼井田干拓 角来・江原新田入会 王子台1～6丁目	臼井台 印南 南臼井台	江原 八幡台1～3丁目 稲荷台1～4丁目
志津地区 (北部)	上座 先崎干拓 南ユーカーリが丘	小竹 井野 西ユーカーリが丘1～7丁目	小竹干拓 井野町	青菅 宮ノ台1～6丁目	先崎 ユーカーリが丘1～7丁目
志津地区 (南部)	上志津 西志津1～8丁目	上志津原	下志津	下志津原	中志津1～7丁目
根郷地区	六崎 神門 馬渡 春路1～2丁目	寺崎 木野子 藤治台 表町1～4丁目	太田 城 大作1～2丁目	大篠塚 石川 大崎台1～5丁目	小篠塚 六崎・城・石川入会 山王1～2丁目
和田地区	寒風 上勝田 宮本	直弥 下勝田 高崎	上別所 八木 坪山新田	米戸 長熊	瓜坪新田 天辺
弥富地区	岩富町 宮内	岩富 西御門	坂戸 七曲	飯塚 内田・飯塚・宮内入会	内田
千代田地区	生谷 染井野1～7丁目	畔田	吉見	飯重	羽鳥

地区別人口の推移をみると、住宅開発等により志津地区、千代田地区は増加傾向にあったが、千代田地区は平成25年から減少に転じている。市内人口の43.3%が集中している志津地区は区画整理が完了した地域もあり、今後も活発な住宅開発が行われることによって北部地域を中心に増加が見込まれる。

その他の地区では、横ばい、または、わずかながら減少傾向にある。特に、和田地区および弥富地区は、地区面積の大半が市街化調整区域となっており、減少傾向が顕著に見られる。(図表14および図表15)



各年3月31日現在

	総人口	佐倉地区	臼井地区	志津地区(北部)	志津地区(南部)	根郷地区	和田地区	弥富地区	千代田地区
H19	176,839 (0.04%)	30,633 (0.08%)	32,447 (▲0.79%)	37,486 (0.29%)	35,905 (0.51%)	25,712 (▲0.02%)	2,245 (0.22%)	1,935 (▲3.39%)	10,476 (0.82%)
H20	176,925 (0.05%)	30,472 (▲0.53%)	32,343 (▲0.32%)	37,515 (0.08%)	36,248 (0.96%)	25,667 (▲0.18%)	2,192 (▲2.36%)	1,889 (▲2.38%)	10,599 (1.17%)
H21	177,515 (0.33%)	30,664 (0.63%)	32,226 (▲0.36%)	37,776 (0.70%)	36,526 (0.77%)	25,543 (▲0.48%)	2,149 (▲1.96%)	1,862 (▲1.43%)	10,769 (1.60%)
H22	177,928 (0.23%)	30,563 (▲0.33%)	32,071 (▲0.48%)	38,163 (1.02%)	36,744 (0.60%)	25,548 (0.02%)	2,134 (▲0.70%)	1,833 (▲1.56%)	10,872 (0.96%)
H23	178,199 (0.15%)	30,338 (▲0.74%)	31,975 (▲0.30%)	38,757 (1.56%)	36,833 (0.24%)	25,387 (▲0.63%)	2,105 (▲1.36%)	1,792 (▲2.24%)	11,012 (1.29%)
H24	178,187 (▲0.01%)	30,028 (▲1.02%)	31,741 (▲0.73%)	39,149 (1.01%)	36,865 (0.09%)	25,474 (0.34%)	2,055 (▲2.38%)	1,761 (▲1.73%)	11,114 (0.93%)
H25	177,740 (▲0.25%)	29,812 (▲0.72%)	31,400 (▲1.07%)	39,435 (0.73%)	36,823 (▲0.11%)	25,460 (▲0.05%)	2,023 (▲1.56%)	1,712 (▲2.78%)	11,075 (▲0.35%)
H26	177,723 (▲0.01%)	29,528 (▲0.95%)	31,228 (▲0.55%)	40,156 (1.83%)	36,759 (▲0.17%)	25,329 (▲0.51%)	1,991 (▲1.58%)	1,698 (▲0.82%)	11,034 (▲0.37%)

()は前年比増減率
(資料:住民基本台帳)

3. 推計方法

(1) 推計手法

コーホート要因法（※）により推計を行う。

※「コーホート要因法」とは、ある時点における性別・年齢階層別に区分された人口の集団（＝コーホート）を基準人口として、コーホートごとに時系列で将来の「出生率」、「出生性比」、「生残率」、「移動率」の4つの変動要因について一定の仮定を設定し、これを用いて将来人口を推計する手法である。出生、死亡、移動などの要因別に将来動向を検討したうえで推計する手法であるため、精緻な推計が可能とされ、人口推計で一般的に用いられる手法である。

(2) 使用するデータ

使用するデータは以下の通り。

【実績】

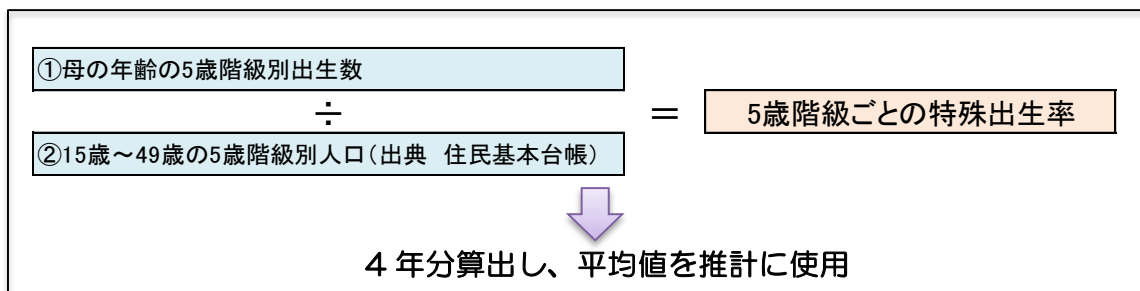
人口	○住民基本台帳人口（各年3月31日）、平成22年～26年 平成24年以前は、住民基本台帳人口＋外国人登録者数 平成25年以降は、住民基本台帳人口（平成24年7月の制度改正により外国人を含む）
出生数	○千葉県衛生統計年報（佐倉市分、平成21年～24年の4年分）を使用

【変動要因】

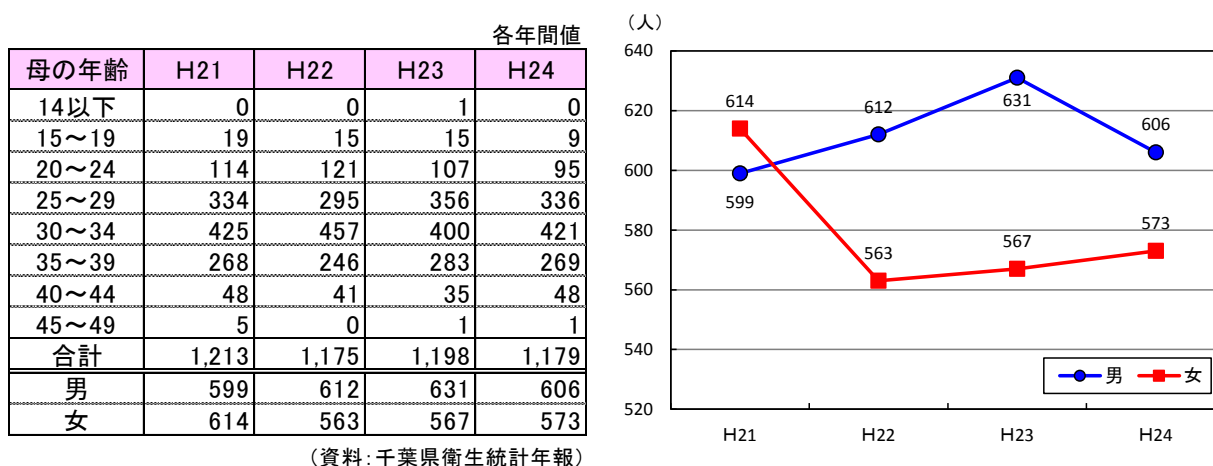
出生率	○一人の女性が一生の間に産む子どもの数。 ・直近4年分（平成21年～24年）の平均
出生性比	○出生数の男女の比率。出生数を男女に按分する際に必要となる。 ・直近4年分（平成21年～24年）の男女別出生数により算出
生残率	○年齢X歳の人口が、(X+1年後)に生存している比率。 ・平成24年簡易生命表のデータを使用
移動率	○地域の人口に占める転入超過数の比率。 ・直近4期間分（平成22年～26年）の平均

1) 出生率

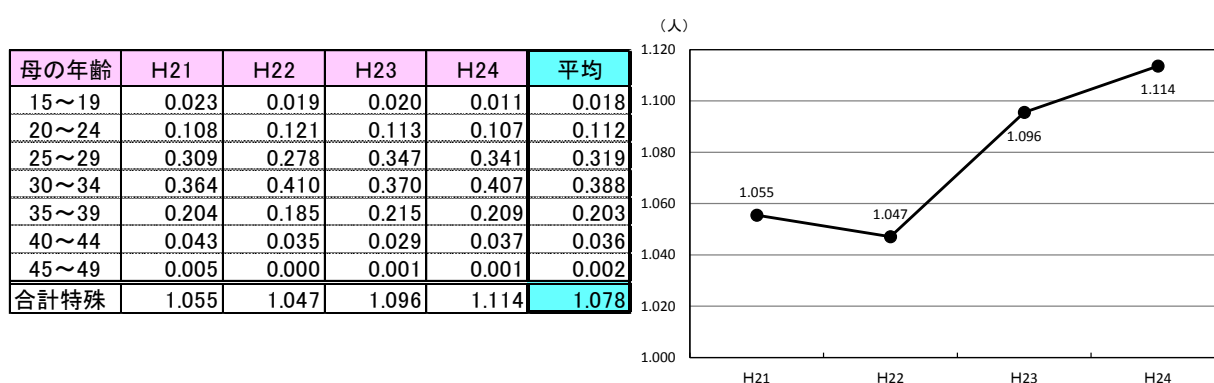
母の年齢5歳階級別出生数を、それぞれ15歳～49歳の5歳階級別女性人口（住民基本台帳）で割って求める。（図表16および図表17）



図表16 出生数



図表17 合計特殊出生率

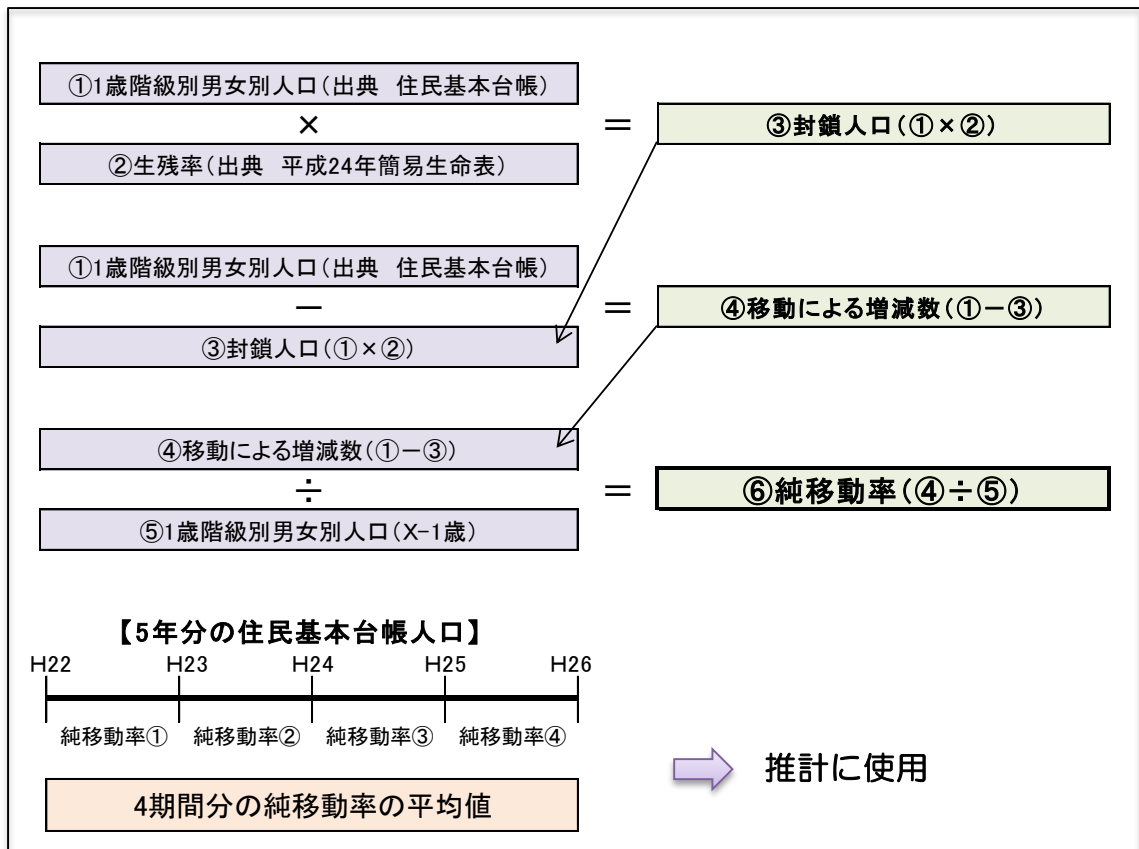


※各年の合計特殊出生率が3ページに掲載の数値と異なるのは、算出にあたって使用する分母が異なることによるものである。

本表は、外国人を含めた住民基本台帳人口（平成24年以前は、住民基本台帳人口+外国人登録者数）を使用しているが、3ページに掲載されている千葉県厚生統計調査の合計特殊出生率は、外国人を除く住民基本台帳人口（平成22年は国勢調査による「基準人口」に準じて計算した独自の数値）を使用。

2) 移動率

移動率は以下のフローで算出し、4年分の平均値を使用する。

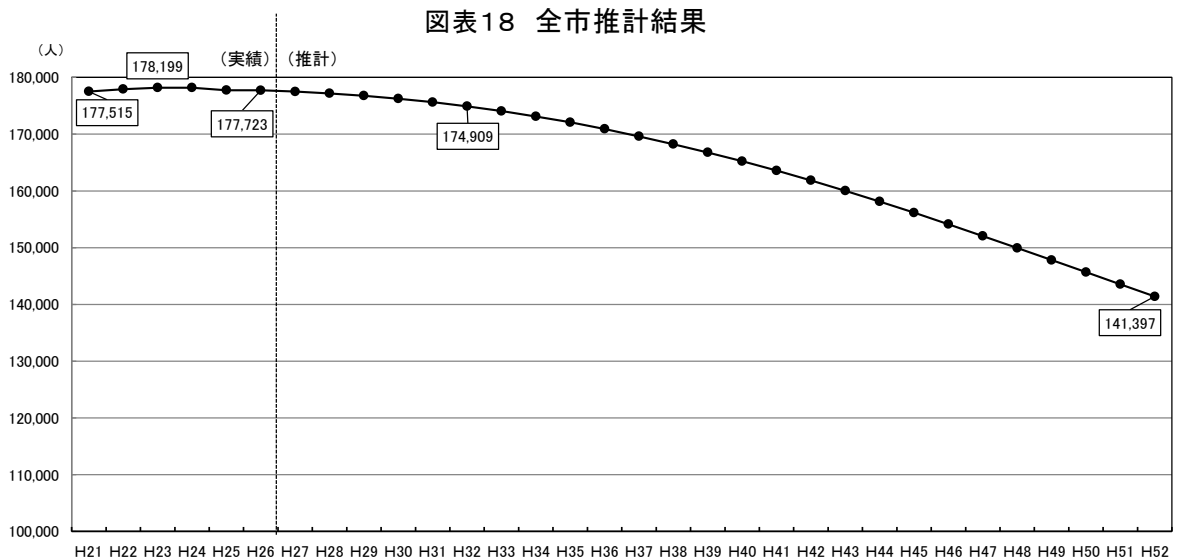


4. 全市推計結果

(1) 総人口

今回の推計では、本市の人口は平成23年の178,199人、199人をピークに減少に転じており、平成26年から32年（現行「総合計画」終了年度）までの6年間で、▲2,814人（総人口に対する割合は▲1.58%）減少することが見込まれる。

なお平成52年には、141,397人まで減少する推計となっている。（図表18）

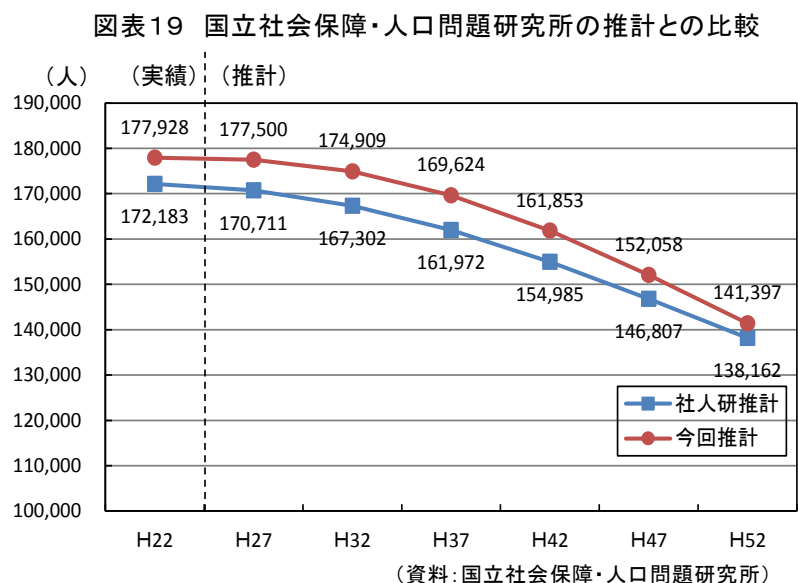


【国立社会保障・人口問題研究所の推計結果との比較】

今回の推計結果と、平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が発表した平成22年国勢調査をベースとする人口推計の結果を比較すると、おおむね同じカーブを描きながら、人口減少していく推計となっている。

両者の推計は、平成32年で7,607人、平成52年で3,235人の差がある（今回の推計の方が多）が、これは平成22年の実績ベースの人口において、社人研（国勢調査）と佐倉市（住民基本台帳）の人口調査結果の違いによるところが大きい。

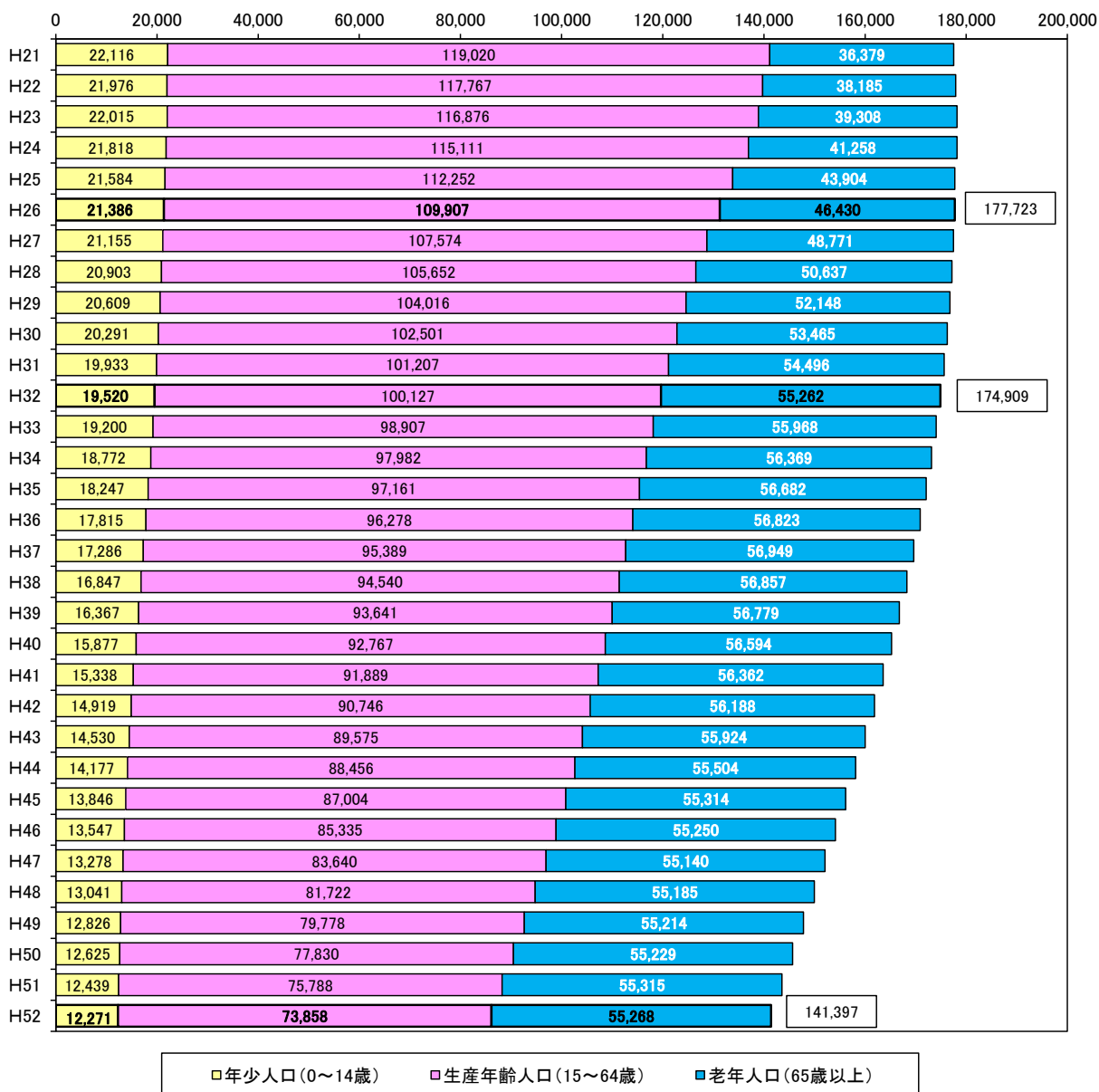
また、社人研の推計は、平成17年と22年の国勢調査の結果を基本に5歳階級ごとの5年刻みの推計となっているのに対し、今回の推計は、平成22年から26年までのデータをもとに、1歳階級ごとの1年刻みの推計となっており、両者の推計方法が異なることも、推計に違いが出ている要因である。（図表19）



(2) 年齢別人口

平成32年の年齢3区分別人口は、年少人口が19,520人、生産年齢人口が100,127人、老年人口が55,262人となる見込みである。平成26年(実績)と比較すると、年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加する。(図表20)

図表20 年齢3区分別人口



(3) 年齢別人口比率

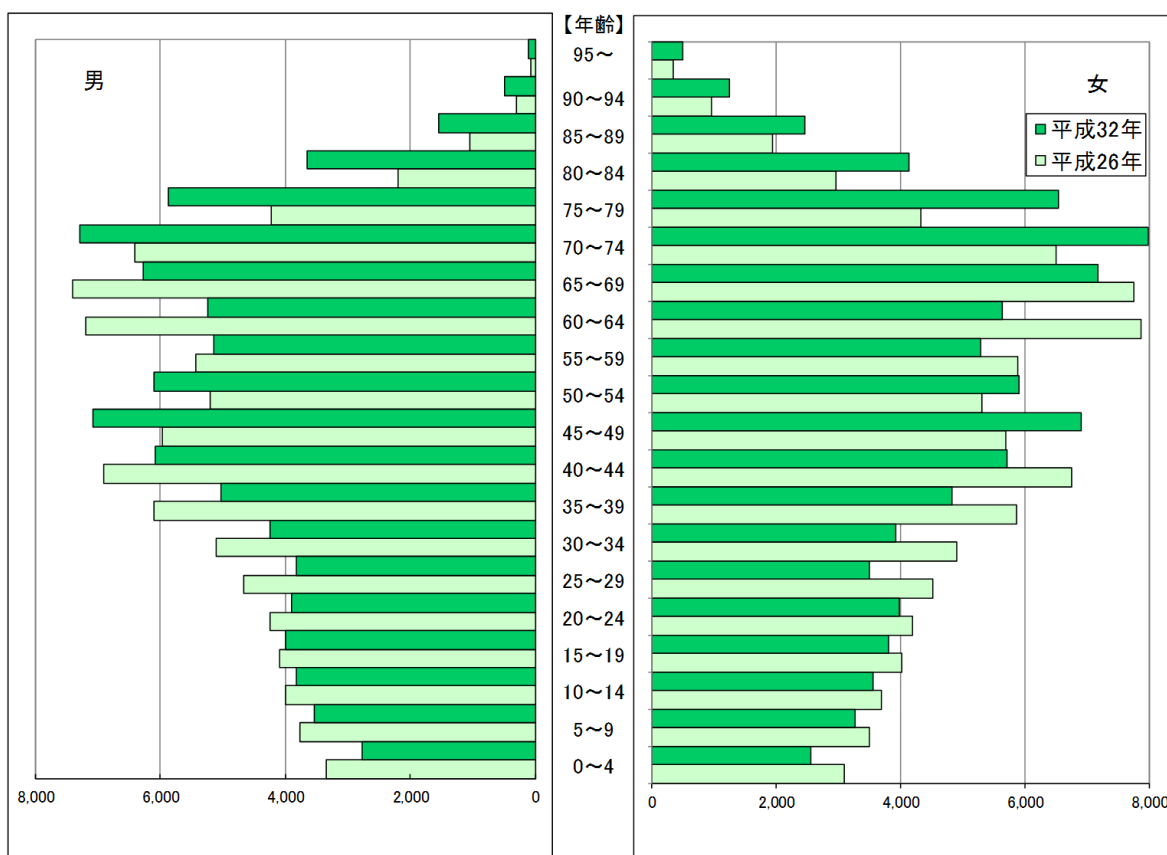
平成32年の年齢3区分別人口比率は、年少人口比率が11.2%、生産年齢人口比率が57.2%、老年人口比率(=高齢化率)が31.6%となる見込みである。平成26年と比較すると、年少人口比率は0.8ポイント、生産年齢人口比率は4.6ポイント減少し、高齢化率は5.5ポイント増加する。さらに平成52年を見ると、高齢化率はいっそう高まり39.1%となる見込みである。(図表21)

図表21 年齢3区分別人口比率



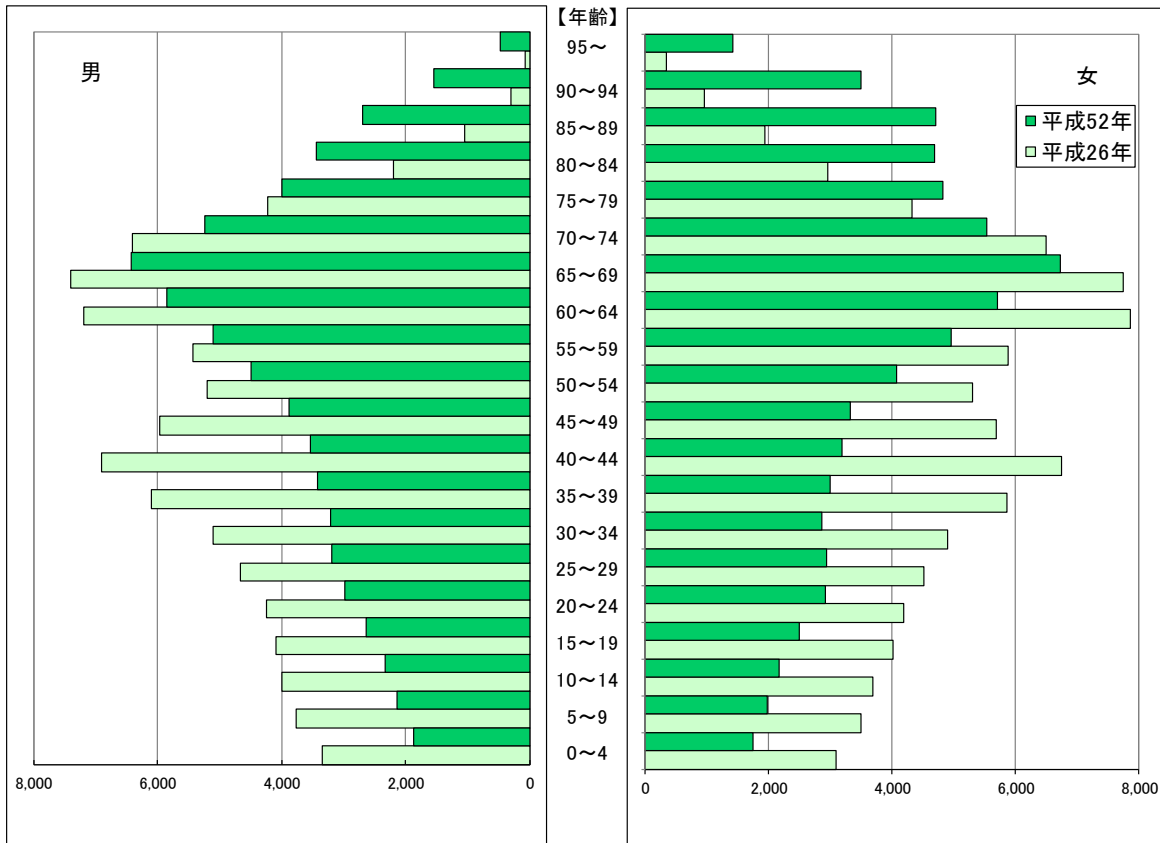
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総人口
H26	21,386 (12.0%)	109,907 (61.8%)	46,430 (26.1%)	177,723
H32	19,520 (11.2%)	100,127 (57.2%)	55,262 (31.6%)	174,909
H52	12,271 (8.7%)	73,858 (52.2%)	55,268 (39.1%)	141,397

図表22 人口ピラミッド(平成26年と平成32年の比較)



【年齢】	男		女		男女合計	
	平成26年	平成32年	平成26年	平成32年	平成26年	平成32年
95~	65	110	346	496	411	606
90~94	303	485	963	1,246	1,266	1,731
85~89	1,050	1,550	1,946	2,470	2,996	4,020
80~84	2,189	3,655	2,965	4,124	5,154	7,779
75~79	4,222	5,870	4,330	6,543	8,552	12,413
70~74	6,409	7,297	6,495	7,971	12,904	15,268
65~69	7,404	6,271	7,743	7,174	15,147	13,445
60~64	7,196	5,244	7,857	5,628	15,053	10,872
55~59	5,427	5,143	5,877	5,283	11,304	10,426
50~54	5,208	6,102	5,309	5,897	10,517	11,999
45~49	5,965	7,077	5,691	6,910	11,656	13,987
40~44	6,913	6,085	6,751	5,708	13,664	11,793
35~39	6,103	5,034	5,866	4,833	11,969	9,867
30~34	5,105	4,250	4,897	3,915	10,002	8,165
25~29	4,658	3,832	4,524	3,494	9,182	7,326
20~24	4,254	3,900	4,184	3,987	8,438	7,887
15~19	4,094	4,003	4,028	3,802	8,122	7,805
10~14	3,989	3,829	3,694	3,564	7,683	7,393
5~9	3,760	3,534	3,501	3,258	7,261	6,792
0~4	3,346	2,771	3,096	2,564	6,442	5,335
総数	87,660	86,042	90,063	88,867	177,723	174,909

図表23 人口ピラミッド(平成26年と平成52年の比較)



【年齢】	男		女		男女合計	
	平成26年	平成52年	平成26年	平成52年	平成26年	平成32年
95～	65	467	346	1,419	411	1,886
90～94	303	1,556	963	3,503	1,266	5,059
85～89	1,050	2,694	1,946	4,716	2,996	7,410
80～84	2,189	3,449	2,965	4,699	5,154	8,148
75～79	4,222	3,996	4,330	4,816	8,552	8,812
70～74	6,409	5,252	6,495	5,541	12,904	10,793
65～69	7,404	6,435	7,743	6,725	15,147	13,160
60～64	7,196	5,856	7,857	5,713	15,053	11,569
55～59	5,427	5,114	5,877	4,967	11,304	10,081
50～54	5,208	4,503	5,309	4,082	10,517	8,585
45～49	5,965	3,882	5,691	3,320	11,656	7,202
40～44	6,913	3,534	6,751	3,198	13,664	6,732
35～39	6,103	3,414	5,866	2,997	11,969	6,411
30～34	5,105	3,215	4,897	2,871	10,002	6,086
25～29	4,658	3,199	4,524	2,937	9,182	6,136
20～24	4,254	2,989	4,184	2,921	8,438	5,910
15～19	4,094	2,647	4,028	2,499	8,122	5,146
10～14	3,989	2,338	3,694	2,175	7,683	4,513
5～9	3,760	2,147	3,501	1,988	7,261	4,135
0～4	3,346	1,881	3,096	1,742	6,442	3,623
総数	87,660	68,568	90,063	72,829	177,723	141,397

(参考)平成32年-平成52年 増減数

【年齢】	増減数		男女合計
	男	女	
95～	357	923	1,280
90～94	1,071	2,257	3,328
85～89	1,144	2,246	3,390
80～84	▲ 206	575	369
75～79	▲ 1,874	▲ 1,727	▲ 3,601
70～74	▲ 2,045	▲ 2,430	▲ 4,475
65～69	164	▲ 449	▲ 285
60～64	612	85	697
55～59	▲ 29	▲ 316	▲ 345
50～54	▲ 1,599	▲ 1,815	▲ 3,414
45～49	▲ 3,195	▲ 3,590	▲ 6,785
40～44	▲ 2,551	▲ 2,510	▲ 5,061
35～39	▲ 1,620	▲ 1,836	▲ 3,456
30～34	▲ 1,035	▲ 1,044	▲ 2,079
25～29	▲ 633	▲ 557	▲ 1,190
20～24	▲ 911	▲ 1,066	▲ 1,977
15～19	▲ 1,356	▲ 1,303	▲ 2,659
10～14	▲ 1,491	▲ 1,389	▲ 2,880
5～9	▲ 1,387	▲ 1,270	▲ 2,657
0～4	▲ 890	▲ 822	▲ 1,712
総数	▲ 17,474	▲ 16,038	▲ 33,512

図表24 年齢3区分別人口推計結果

	実 績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	177,515	177,928	178,199	178,187	177,740	177,723
年少人口 (0～14歳)	22,116 12.5%	21,976 12.4%	22,015 12.4%	21,818 12.2%	21,584 12.1%	21,386 12.0%
生産年齢人口 (15～64歳)	119,020 67.0%	117,767 66.2%	116,876 65.6%	115,111 64.6%	112,252 63.2%	109,907 61.8%
老年人口 (65歳以上)	36,379 20.5%	38,185 21.5%	39,308 22.1%	41,258 23.2%	43,904 24.7%	46,430 26.1%
後期高齢者人口 (75歳以上)	13,559 7.6%	14,458 8.1%	15,381 8.6%	16,405 9.2%	17,461 9.8%	18,379 10.3%

	推 計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	177,500	177,192	176,773	176,257	175,636	174,909	174,075	173,123	172,090	170,916	169,624
年少人口 (0～14歳)	21,155 11.9%	20,903 11.8%	20,609 11.7%	20,291 11.5%	19,933 11.3%	19,520 11.2%	19,200 11.0%	18,772 10.8%	18,247 10.6%	17,815 10.4%	17,286 10.2%
生産年齢人口 (15～64歳)	107,574 60.6%	105,652 59.6%	104,016 58.8%	102,501 58.2%	101,207 57.6%	100,127 57.2%	98,907 56.8%	97,982 56.6%	97,161 56.5%	96,278 56.3%	95,389 56.2%
老年人口 (65歳以上)	48,771 27.5%	50,637 28.6%	52,148 29.5%	53,465 30.3%	54,496 31.0%	55,262 31.6%	55,968 32.2%	56,369 32.6%	56,682 32.9%	56,823 33.2%	56,949 33.6%
後期高齢者人口 (75歳以上)	19,374 10.9%	20,713 11.7%	22,290 12.6%	23,734 13.5%	25,394 14.5%	26,550 15.2%	27,200 15.6%	28,471 16.4%	30,396 17.7%	32,069 18.8%	33,557 19.8%

	推 計										
	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48
総数	168,244	166,787	165,238	163,589	161,853	160,029	158,137	156,164	154,132	152,058	149,948
年少人口 (0～14歳)	16,847 10.0%	16,367 9.8%	15,877 9.6%	15,338 9.4%	14,919 9.2%	14,530 9.1%	14,177 9.0%	13,846 8.9%	13,547 8.8%	13,278 8.7%	13,041 8.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	94,540 56.2%	93,641 56.1%	92,767 56.1%	91,889 56.2%	90,746 56.1%	89,575 56.0%	88,456 55.9%	87,004 55.7%	85,335 55.4%	83,640 55.0%	81,722 54.5%
老年人口 (65歳以上)	56,857 33.8%	56,779 34.0%	56,594 34.2%	56,362 34.5%	56,188 34.7%	55,924 34.9%	55,504 35.1%	55,314 35.4%	55,250 35.8%	55,140 36.3%	55,185 36.8%
後期高齢者人口 (75歳以上)	34,607 20.6%	35,332 21.2%	35,879 21.7%	36,140 22.1%	36,144 22.3%	36,083 22.5%	35,760 22.6%	35,348 22.6%	34,817 22.6%	34,328 22.6%	33,662 22.4%

	推 計			
	H49	H50	H51	H52
総数	147,818	145,684	143,542	141,397
年少人口 (0～14歳)	12,826 8.7%	12,625 8.7%	12,439 8.7%	12,271 8.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	79,778 54.0%	77,830 53.4%	75,788 52.8%	73,858 52.2%
老年人口 (65歳以上)	55,214 37.4%	55,229 37.9%	55,315 38.5%	55,268 39.1%
後期高齢者人口 (75歳以上)	33,051 22.4%	32,412 22.2%	31,803 22.2%	31,315 22.1%

(再掲)		
H26	H32	H52
177,723	174,909	141,397
21,386	19,520	12,271
12.0%	11.2%	8.7%
109,907	100,127	73,858
61.8%	57.2%	52.2%
46,430	55,262	55,268
26.1%	31.6%	39.1%
18,379	26,550	31,315
10.3%	15.2%	22.1%

(4) 世帯数の推計

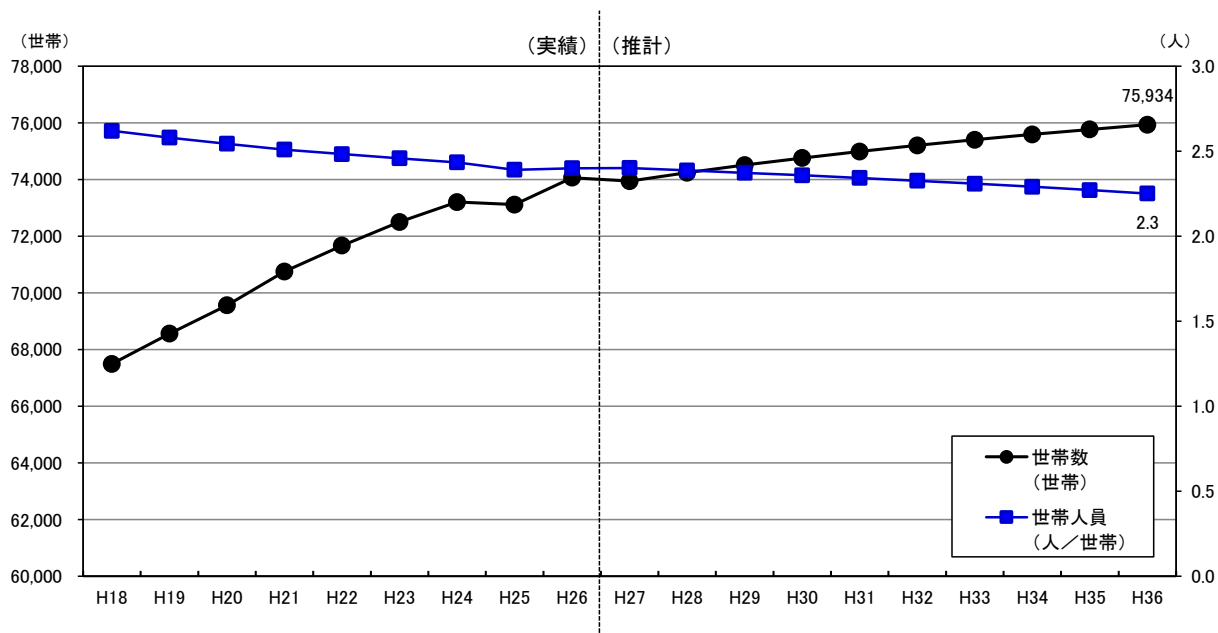
平成18年から26年までの傾向から算出した近似曲線を利用して世帯数を推計した。1世帯あたりの人員は推計人口をもとに世帯数から算出した。

推計によると、人口が減っているにもかかわらず世帯数が増える傾向にあり、1世帯あたりの人員は減少している。

今後も、単身世帯の増加等により世帯数は増加していく見込みであり、平成26年は74,065世帯であるが、10年後の平成36年には75,934世帯となる見込みである。(図表25)

図表25 世帯数の推計

		世帯数 (世帯)	世帯人員 (人/世帯)	総人口 (人)
実 績	H18	67,495	2.62	176,764
	H19	68,558	2.58	176,839
	H20	69,561	2.54	176,925
	H21	70,751	2.51	177,515
	H22	71,669	2.48	177,928
	H23	72,501	2.46	178,199
	H24	73,204	2.43	178,187
	H25	73,112	2.43	177,740
推 計	H26	74,065	2.40	177,723
	H27	73,943	2.40	177,500
	H28	74,239	2.39	177,192
	H29	74,508	2.37	176,773
	H30	74,757	2.36	176,257
	H31	74,987	2.34	175,636
	H32	75,201	2.33	174,909
	H33	75,401	2.31	174,075
	H34	75,589	2.29	173,123
	H35	75,766	2.27	172,090
	H36	75,934	2.25	170,916



5. 地区別人口の推計

下記の8つの地区ごとにコーホート要因法により人口推計を行った。

図表26 佐倉市内8地区



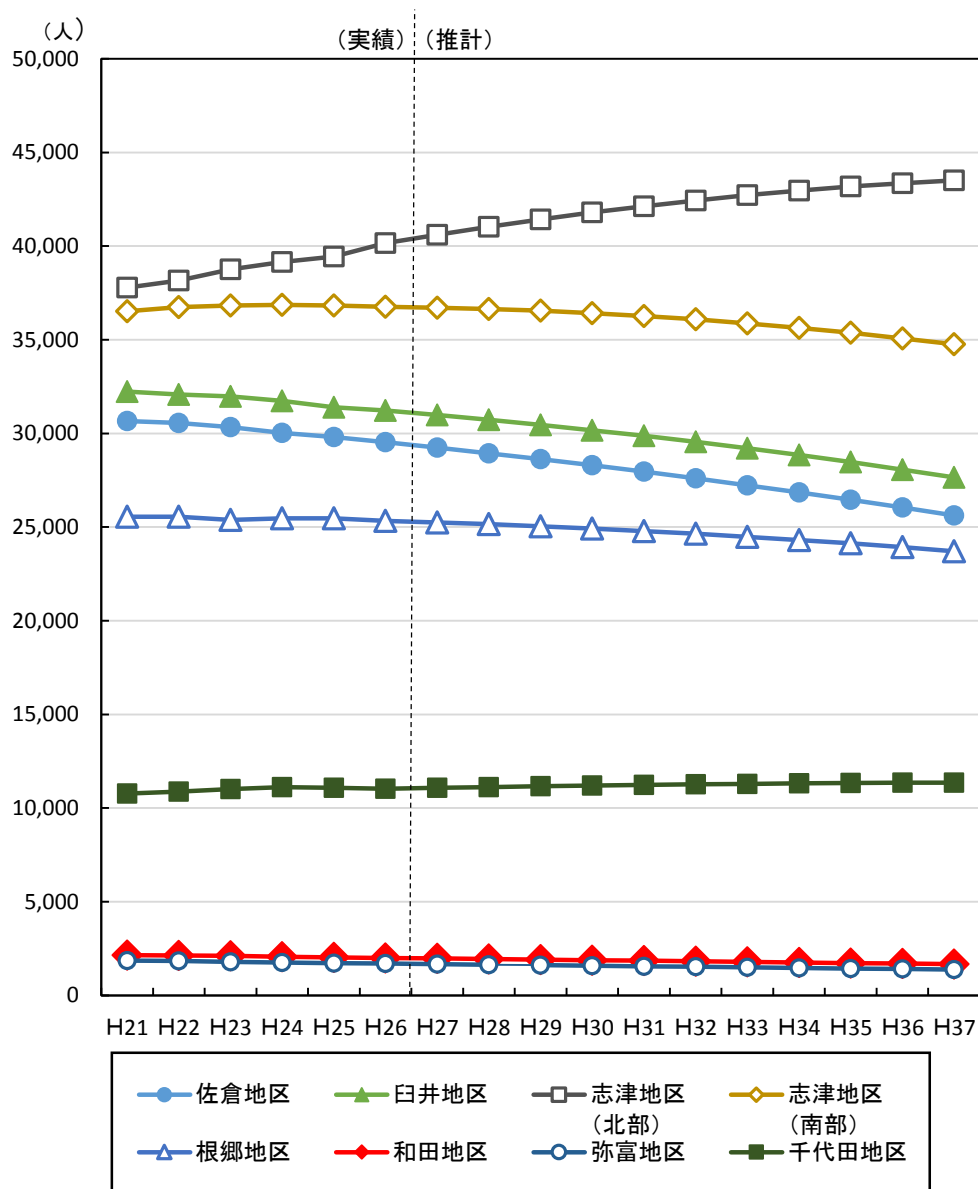
佐倉地区	田町 新町 野狐台町 大蛇町 千成1～3丁目 岩名 飯野 下根町 飯田台	海隣寺町 裏新町 鍋山町 藤沢町 大佐倉 萩山新田 飯野干拓 鹿島干拓 白銀1～4丁目	並木町 中尾余町 本町 栄町 大佐倉干拓 萩山新田干拓 飯野町 上代 鎗木仲田町	宮小路町 最上町 樹木町 城内町 飯田 土浮 下根 高岡	鎗木町 弥勒町 将門町 鎗木町1～2丁目 飯田干拓 土浮干拓 山崎 宮前1～3丁目
臼井地区	臼井 江原新田 新臼井田	臼井田 角来 江原台1～2丁目	臼井田干拓 角来・江原新田入会 王子台1～6丁目	臼井台 印南 南臼井台	江原 八幡台1～3丁目 稲荷台1～4丁目
志津地区 (北部)	上座 先崎干拓 南ユーカリが丘	小竹 井野 西ユーカリが丘1～7丁目	小竹干拓 井野町	青菅 宮ノ台1～6丁目	先崎 ユーカリが丘1～7丁目
志津地区 (南部)	上志津 西志津1～8丁目	上志津原	下志津	下志津原	中志津1～7丁目
根郷地区	六崎 神門 馬渡 春路1～2丁目	寺崎 木野子 藤治台 表町1～4丁目	太田 城 大作1～2丁目	大篠塚 石川 大崎台1～5丁目	小篠塚 六崎・城・石川入会 山王1～2丁目
和田地区	寒風 上勝田 宮本	直弥 下勝田 高崎	上別所 八木 坪山新田	米戸 長熊	瓜坪新田 天辺
弥富地区	岩富町 宮内	岩富 西御門	坂戸 七曲	飯塚 内田・飯塚・宮内入会	内田
千代田地区	生谷 染井野1～7丁目	畔田	吉見	飯重	羽鳥

佐倉地区、臼井地区、志津地区（南部）、根郷地区、和田地区、弥富地区の6地区は、今後、人口が減少していくことが見込まれる一方、志津地区（北部）と千代田地区は増加が見込まれる。

志津地区（北部）は、これまでも住宅開発に伴い人口が増加しており、引き続き住宅開発が見込まれ、増加基調は変わらないと思われる。

千代田地区は、直近の人口推移を見ると、20代が転出等により減少しているものの、子育て世代の転入がその減少分をカバーする状況が続いており、この趨勢に基づき算出し、人口が微増する推計結果となった。（図表27）

図表27 地区別人口推計結果



(人)

	総人口	佐倉地区	臼井地区	志津地区 (北部)	志津地区 (南部)	根郷地区	和田地区	弥富地区	千代田地区
H21	177,515	30,664	32,226	37,776	36,526	25,543	2,149	1,862	10,769
H22	177,928	30,563	32,071	38,163	36,744	25,548	2,134	1,833	10,872
H23	178,199	30,338	31,975	38,757	36,833	25,387	2,105	1,792	11,012
H24	178,187	30,028	31,741	39,149	36,865	25,474	2,055	1,761	11,114
H25	177,740	29,812	31,400	39,435	36,823	25,460	2,023	1,712	11,075
(実績)									
(推計)									
H26	177,723	29,528	31,228	40,156	36,759	25,329	1,991	1,698	11,034
H27	177,500	29,239	30,986	40,600	36,712	25,243	1,968	1,672	11,080
H28	177,192	28,935	30,733	41,025	36,646	25,150	1,940	1,642	11,121
H29	176,773	28,623	30,461	41,420	36,548	25,040	1,908	1,612	11,161
H30	176,257	28,294	30,171	41,791	36,420	24,923	1,879	1,579	11,200
H31	175,636	27,952	29,867	42,128	36,265	24,789	1,850	1,554	11,231
H32	174,909	27,598	29,542	42,434	36,084	24,643	1,818	1,526	11,264
H33	174,075	27,229	29,203	42,712	35,873	24,482	1,789	1,495	11,292
H34	173,123	26,845	28,842	42,958	35,632	24,310	1,756	1,464	11,316
H35	172,090	26,453	28,467	43,178	35,366	24,126	1,726	1,436	11,338
H36	170,916	26,043	28,068	43,351	35,074	23,923	1,696	1,408	11,353
H37	169,624	25,613	27,649	43,499	34,756	23,706	1,667	1,375	11,359
26年-37年 の増減	▲ 8,099 (▲4.56%)	▲ 3,915 (▲13.26%)	▲ 3,579 (▲11.46%)	3,343 (8.33%)	▲ 2,003 (▲5.45%)	▲ 1,623 (▲6.41%)	▲ 324 (▲16.27%)	▲ 323 (▲19.02%)	325 (2.95%)

《補足説明》 地区別人口推計に使用するデータおよび変動要因について

- ・「出生数」は、市全体の人口推計で使用した数値を使用する。したがって、「出生率」「出生性比」ともに、8地区共通の数値（市全体で使用した数値と同じ）となる。
- ・一方、「人口」は、住民基本台帳（平成24年以前は外国人登録者数を加算）をもとに地区別に振り分けて使用するため、8地区それぞれ異なる「移動率」となる。
- ・「生残率」については、市全体で使用した「平成24年簡易生命表」のデータを使用する。
- ・このような前提条件のもと、千代田地区については、平成21年～24年において住宅開発等に伴う転入者が多いことから、「移動率」が高い数値を示し、この趨勢に基づいて人口推計を行った結果、上記のとおり人口が微増する推計となった。

平成26年と32年の地区別の年齢3区分別人口（比率）を見ると、年少人口は、志津地区（北部）および千代田地区においては現状程度の水準を維持するものの、その他6地区では減少が見込まれる。

生産年齢人口はすべての地区において減少し、老年人口はすべての地区において増加することが見込まれる。

平成32年における年齢3区分別人口（比率）について、各地区と市全体とを比較すると、年少人口については、志津地区（北部）、志津地区（南部）、千代田地区の3地区が市全体（11.2%）を上回る。

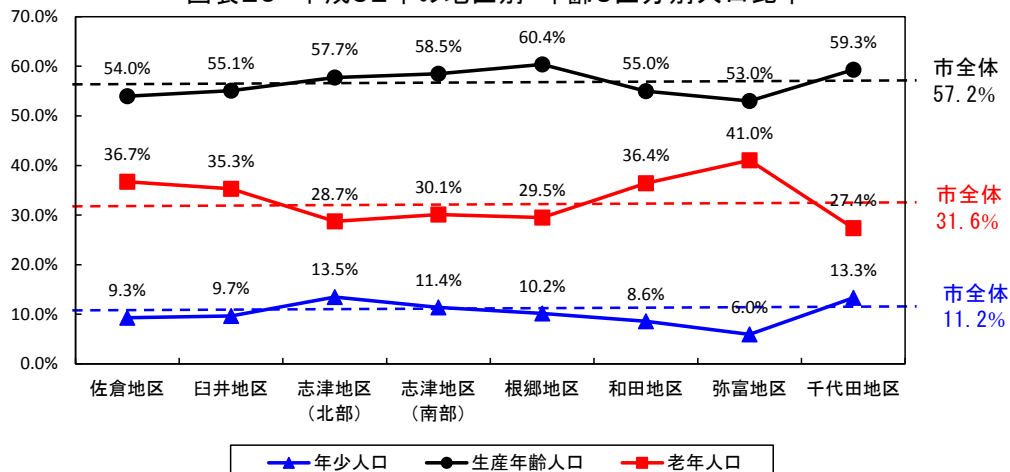
生産年齢人口が市全体（57.2%）を上回るのは、志津地区（北部）、志津地区（南部）、根郷地区、千代田地区の4地区。老年人口が市全体（31.6%）を下回るのは、志津地区（北部）、志津地区（南部）、根郷地区、千代田地区の4地区となった。

（図表28および図表29）

図表28 平成26年と32年の地区別・年齢3区分別人口

	年少人口		生産年齢人口		老年人口		総人口		平成26-32年 増減
	平成26年	平成32年	平成26年	平成32年	平成26年	平成32年	平成26年	平成32年	
佐倉地区	3,035	2,574	17,661	14,890	8,832	10,134	29,528	27,598	▲1,930 (▲6.54%)
	10.3%	9.3%	59.8%	54.0%	29.9%	36.7%	-	-	
臼井地区	3,588	2,851	18,693	16,268	8,947	10,423	31,228	29,542	▲1,686 (▲5.40%)
	11.5%	9.7%	59.9%	55.1%	28.7%	35.3%	-	-	
志津地区 (北部)	5,416	5,738	24,945	24,502	9,795	12,194	40,156	42,434	2,278 (5.67%)
	13.5%	13.5%	62.1%	57.7%	24.4%	28.7%	-	-	
志津地区 (南部)	4,611	4,106	22,479	21,106	9,669	10,872	36,759	36,084	▲675 (▲1.84%)
	12.5%	11.4%	61.2%	58.5%	26.3%	30.1%	-	-	
根郷地区	2,953	2,503	16,739	14,874	5,637	7,266	25,329	24,643	▲686 (▲2.71%)
	11.7%	10.2%	66.1%	60.4%	22.3%	29.5%	-	-	
和田地区	208	156	1,178	1,000	605	662	1,991	1,818	▲173 (▲8.69%)
	10.4%	8.6%	59.2%	55.0%	30.4%	36.4%	-	-	
弥富地区	114	91	981	809	603	626	1,698	1,526	▲172 (▲10.13%)
	6.7%	6.0%	57.8%	53.0%	35.5%	41.0%	-	-	
千代田地区	1,461	1,501	7,231	6,678	2,342	3,085	11,034	11,264	230 (2.08%)
	13.2%	13.3%	65.5%	59.3%	21.2%	27.4%	-	-	
市全体	21,386	19,520	109,907	100,127	46,430	55,262	177,723	174,909	▲2,814 (▲1.58%)
	12.0%	11.2%	61.8%	57.2%	26.1%	31.6%	-	-	

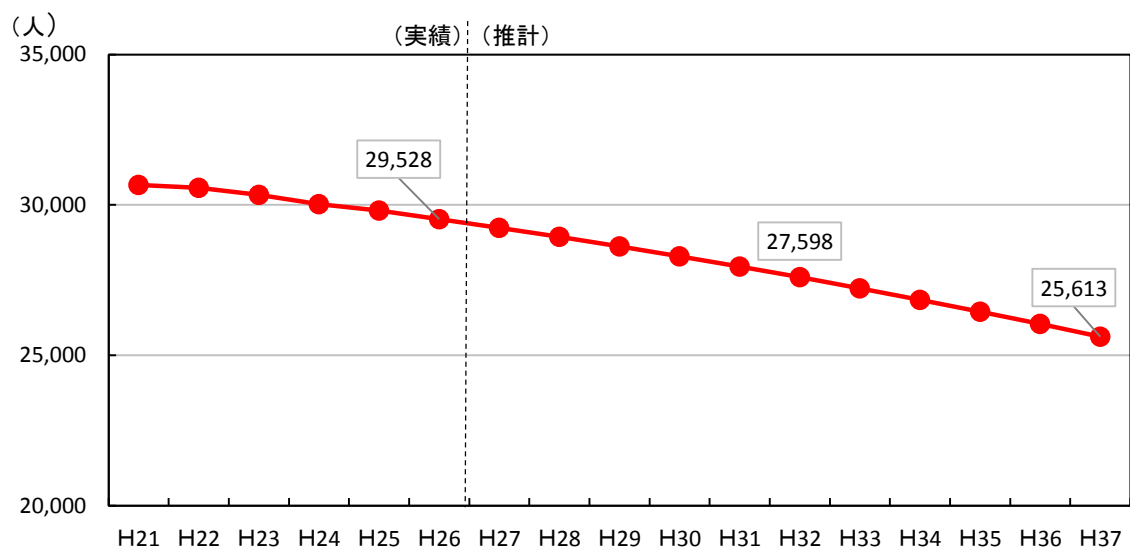
図表29 平成32年の地区別・年齢3区分別人口比率



(1) 佐倉地区

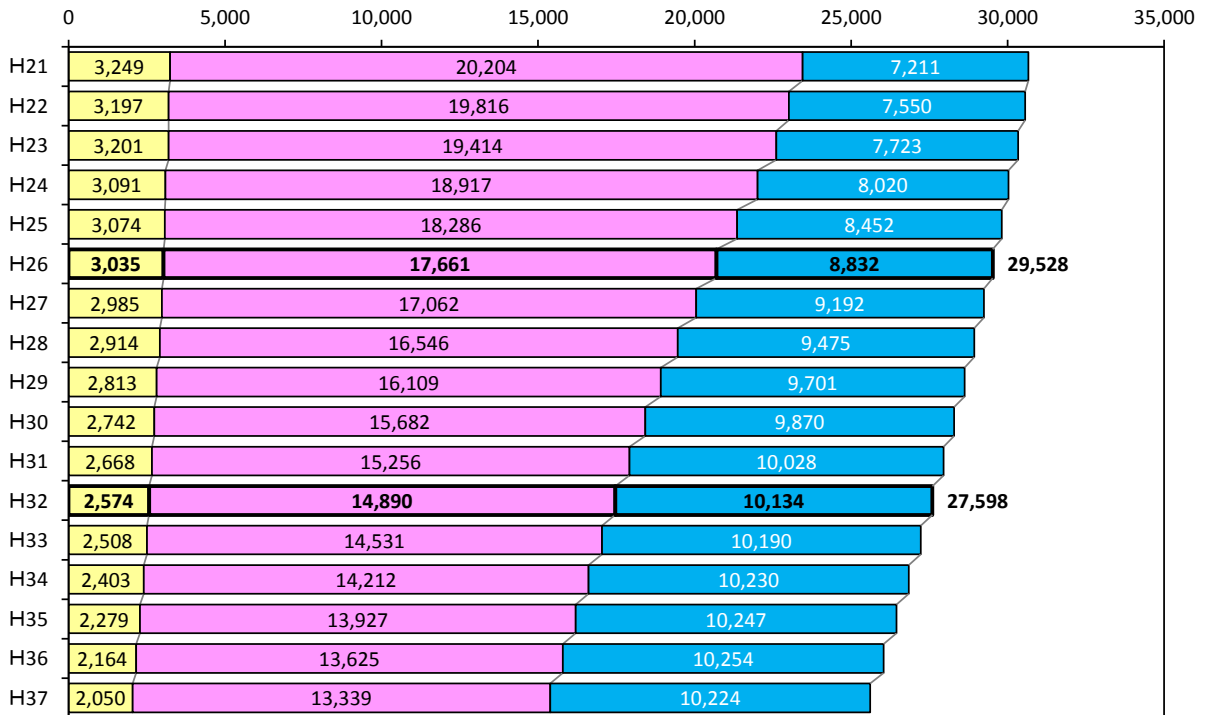
総人口は減少基調にあり、平成26年29,528人から、平成32年27,598人（平成26年比▲1,930人）、平成37年25,613人（同比▲3,915人）に減少していく見込み。

総人口が減少する中、平成26年から平成37年にかけて、年少人口と生産年齢人口が合計5,307人減少する一方、老年人口は1,392人増加し、老年人口比率が弥富地区（43.7%）に次いで、高くなることが予想される。

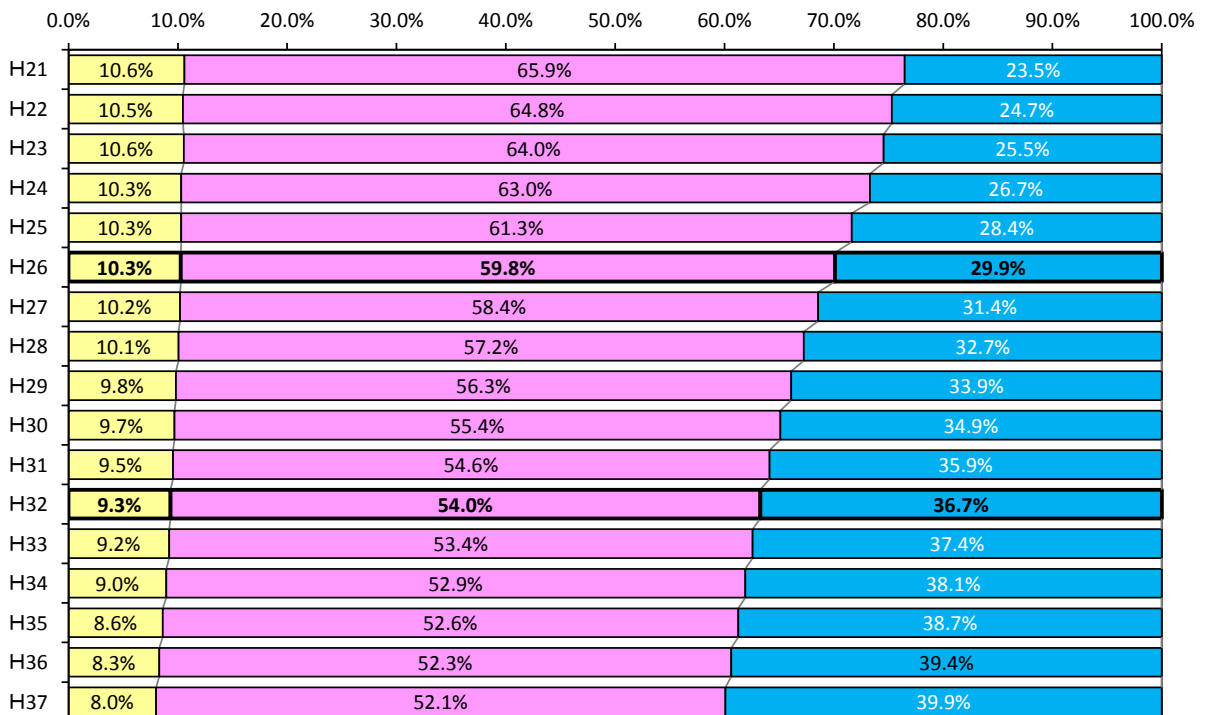


実績						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	30,664	30,563	30,338	30,028	29,812	29,528
年少人口 (0~14歳)	3,249 10.6%	3,197 10.5%	3,201 10.6%	3,091 10.3%	3,074 10.3%	3,035 10.3%
生産年齢人口 (15~64歳)	20,204 65.9%	19,816 64.8%	19,414 64.0%	18,917 63.0%	18,286 61.3%	17,661 59.8%
老年人口 (65歳以上)	7,211 23.5%	7,550 24.7%	7,723 25.5%	8,020 26.7%	8,452 28.4%	8,832 29.9%
後期高齢者人口 (75歳以上)	3,035 9.9%	3,184 10.4%	3,345 11.0%	3,498 11.6%	3,692 12.4%	3,828 13.0%

推計											
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	29,239	28,935	28,623	28,294	27,952	27,598	27,229	26,845	26,453	26,043	25,613
年少人口 (0~14歳)	2,985 10.2%	2,914 10.1%	2,813 9.8%	2,742 9.7%	2,668 9.5%	2,574 9.3%	2,508 9.2%	2,403 9.0%	2,279 8.6%	2,164 8.3%	2,050 8.0%
生産年齢人口 (15~64歳)	17,062 58.4%	16,546 57.2%	16,109 56.3%	15,682 55.4%	15,256 54.6%	14,890 54.0%	14,531 53.4%	14,212 52.9%	13,927 52.6%	13,625 52.3%	13,339 52.1%
老年人口 (65歳以上)	9,192 31.4%	9,475 32.7%	9,701 33.9%	9,870 34.9%	10,028 35.9%	10,134 36.7%	10,190 37.4%	10,230 38.1%	10,247 38.7%	10,254 39.4%	10,224 39.9%
後期高齢者人口 (75歳以上)	3,980 13.6%	4,183 14.5%	4,461 15.6%	4,682 16.5%	4,956 17.7%	5,180 18.8%	5,273 19.4%	5,472 20.4%	5,773 21.8%	6,009 23.1%	6,233 24.3%



■ 年少人口 (0~14歲)
 ■ 生產年齡人口 (15~64歲)
 ■ 老年人口 (65歲以上)

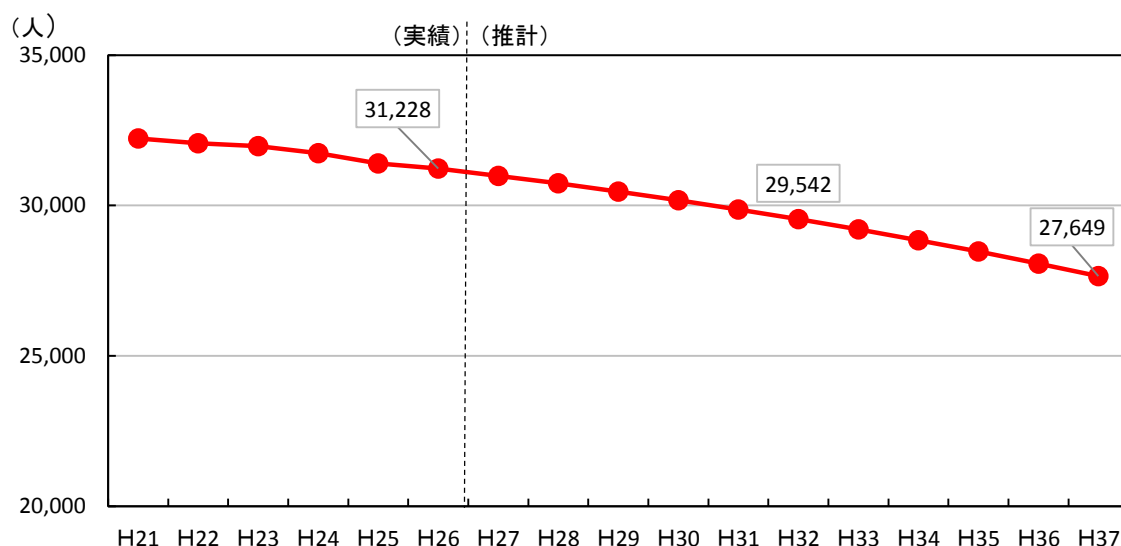


■ 年少人口 (0~14歲)
 ■ 生產年齡人口 (15~64歲)
 ■ 老年人口 (65歲以上)

(2) 臼井地区

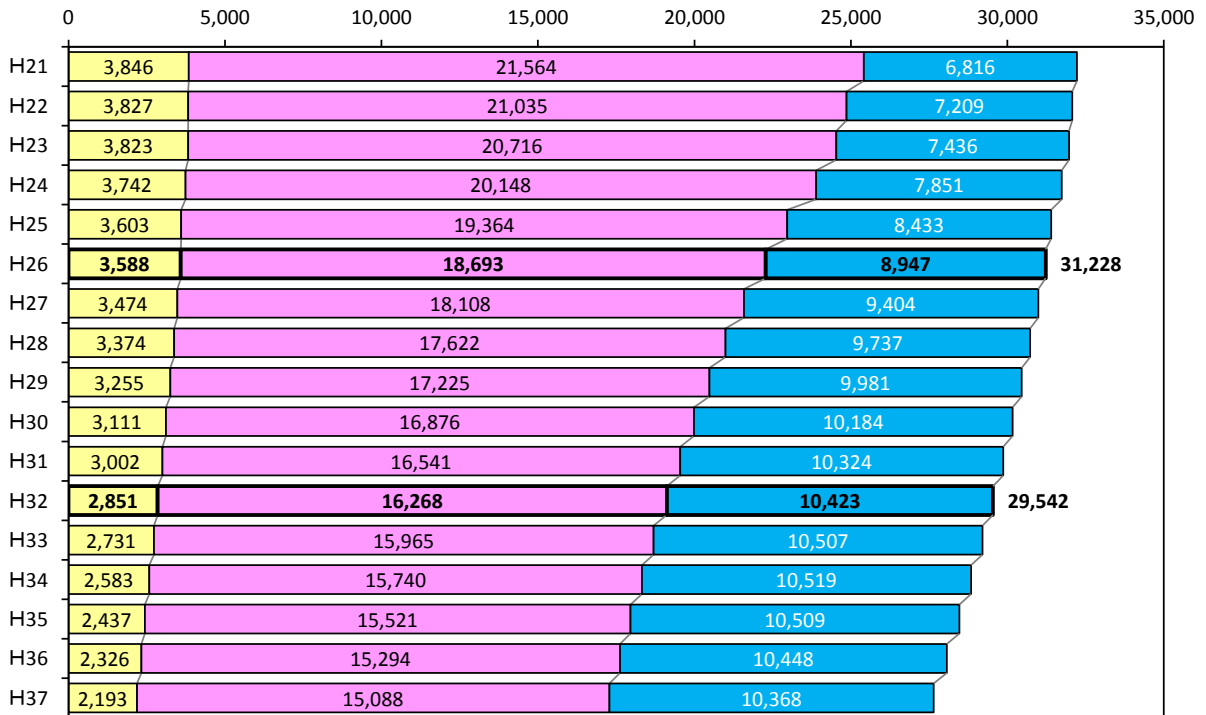
総人口は減少基調にあり、平成26年31,228人から、平成32年29,542人（平成26年比▲1,686人）、平成37年27,649人（同比▲3,579人）に減少していく見込み。

総人口が減少する中、平成26年から平成37年にかけて、年少人口と生産年齢人口が合計5,000人減少する一方、老年人口は1,421人の増加が見込まれる。

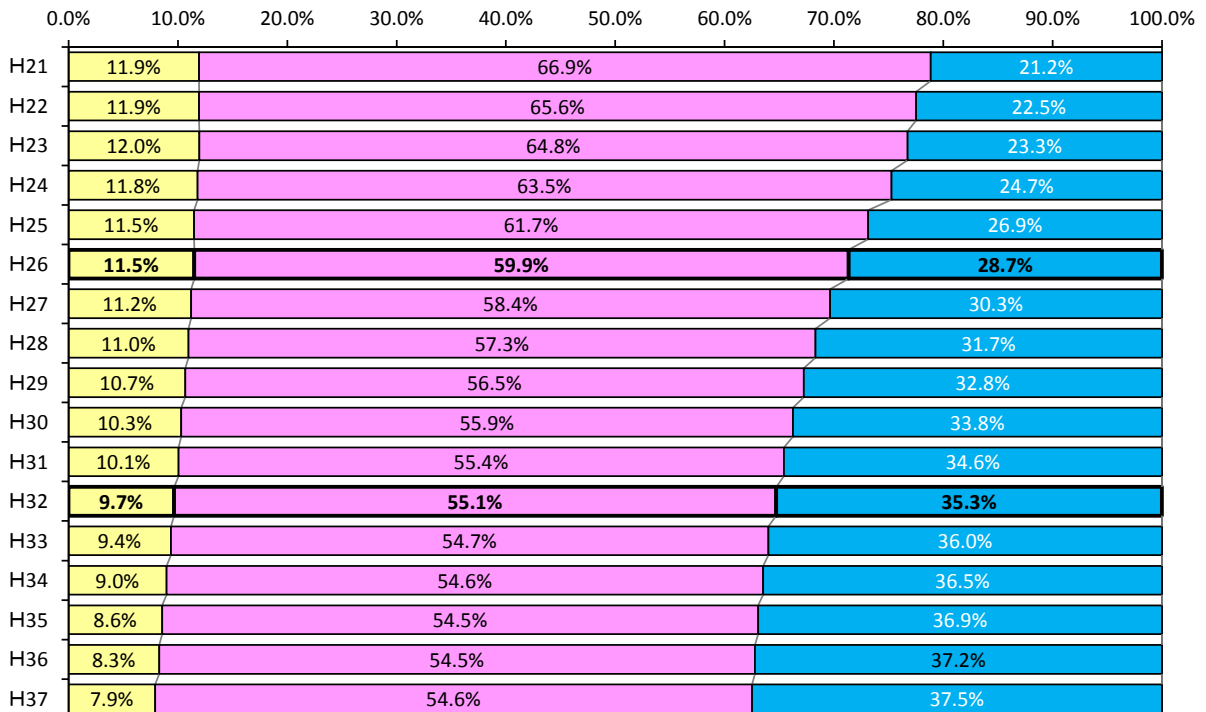


実績						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	32,226	32,071	31,975	31,741	31,400	31,228
年少人口 (0~14歳)	3,846 11.9%	3,827 11.9%	3,823 12.0%	3,742 11.8%	3,603 11.5%	3,588 11.5%
生産年齢人口 (15~64歳)	21,564 66.9%	21,035 65.6%	20,716 64.8%	20,148 63.5%	19,364 61.7%	18,693 59.9%
老年人口 (65歳以上)	6,816 21.2%	7,209 22.5%	7,436 23.3%	7,851 24.7%	8,433 26.9%	8,947 28.7%
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,380 7.4%	2,532 7.9%	2,665 8.3%	2,863 9.0%	3,051 9.7%	3,213 10.3%

推計											
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	30,986	30,733	30,461	30,171	29,867	29,542	29,203	28,842	28,467	28,068	27,649
年少人口 (0~14歳)	3,474 11.2%	3,374 11.0%	3,255 10.7%	3,111 10.3%	3,002 10.1%	2,851 9.7%	2,731 9.4%	2,583 9.0%	2,437 8.6%	2,326 8.3%	2,193 7.9%
生産年齢人口 (15~64歳)	18,108 58.4%	17,622 57.3%	17,225 56.5%	16,876 55.9%	16,541 55.4%	16,268 55.1%	15,965 54.7%	15,740 54.6%	15,521 54.5%	15,294 54.5%	15,088 54.6%
老年人口 (65歳以上)	9,404 30.3%	9,737 31.7%	9,981 32.8%	10,184 33.8%	10,324 34.6%	10,423 35.3%	10,507 36.0%	10,519 36.5%	10,509 36.9%	10,448 37.2%	10,368 37.5%
後期高齢者人口 (75歳以上)	3,421 11.0%	3,703 12.0%	4,068 13.4%	4,358 14.4%	4,738 15.9%	5,000 16.9%	5,132 17.6%	5,404 18.7%	5,825 20.5%	6,178 22.0%	6,467 23.4%



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

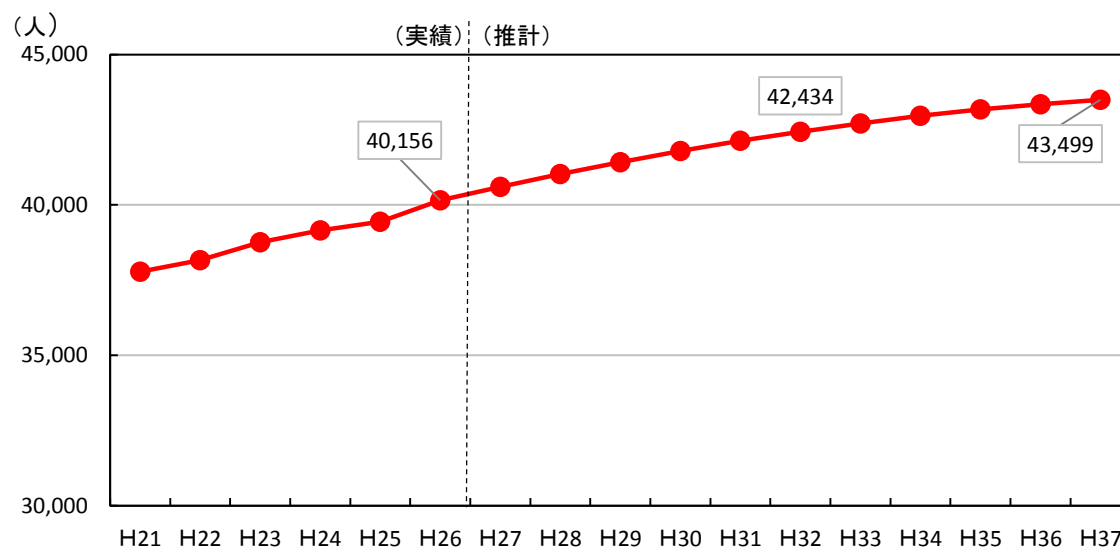


■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 高齢者人口 (65歳以上)

(3) 志津地区（北部）

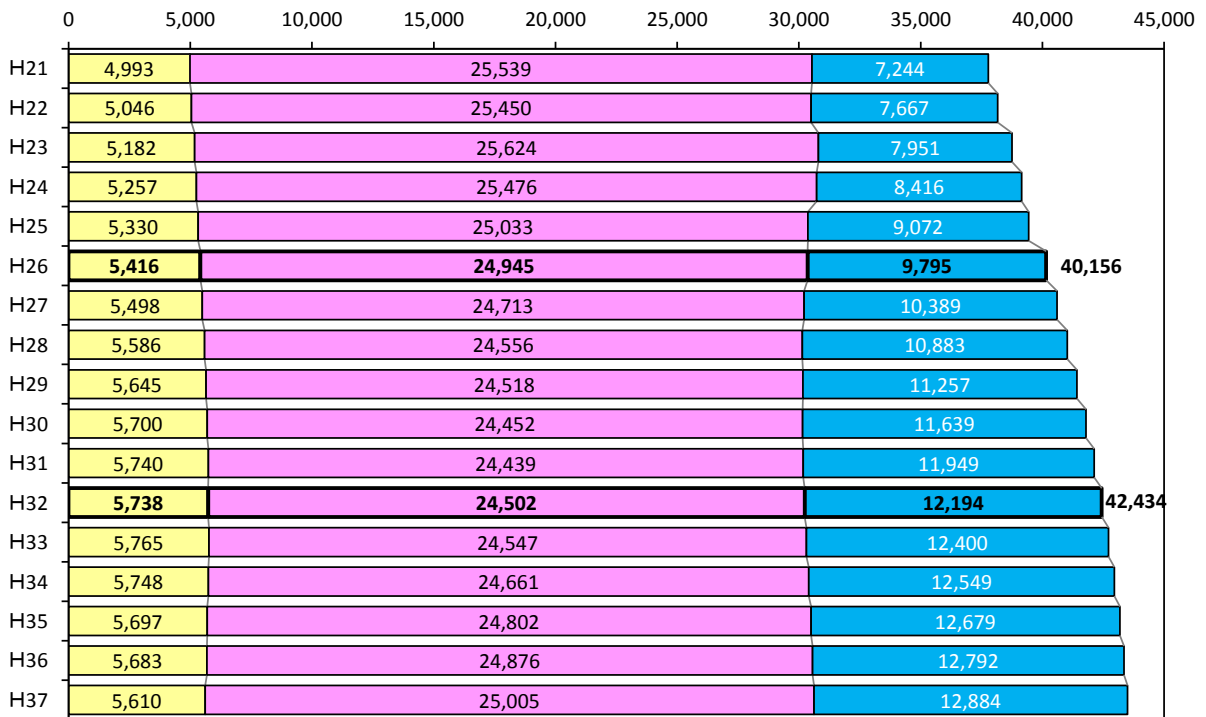
総人口は増加基調にあり、平成26年40,156人から、平成32年42,434人（平成26年比+2,278人）、平成37年43,499人（同比+3,343人）に増加する見込み。

平成26年から平成37年にかけて、老年人口は3,089人増加するものの、年少人口と生産年齢人口も254人の増加が見込まれ、8地区内で唯一、平成37年における老年人口比率が30%を下回ることが見込まれる。

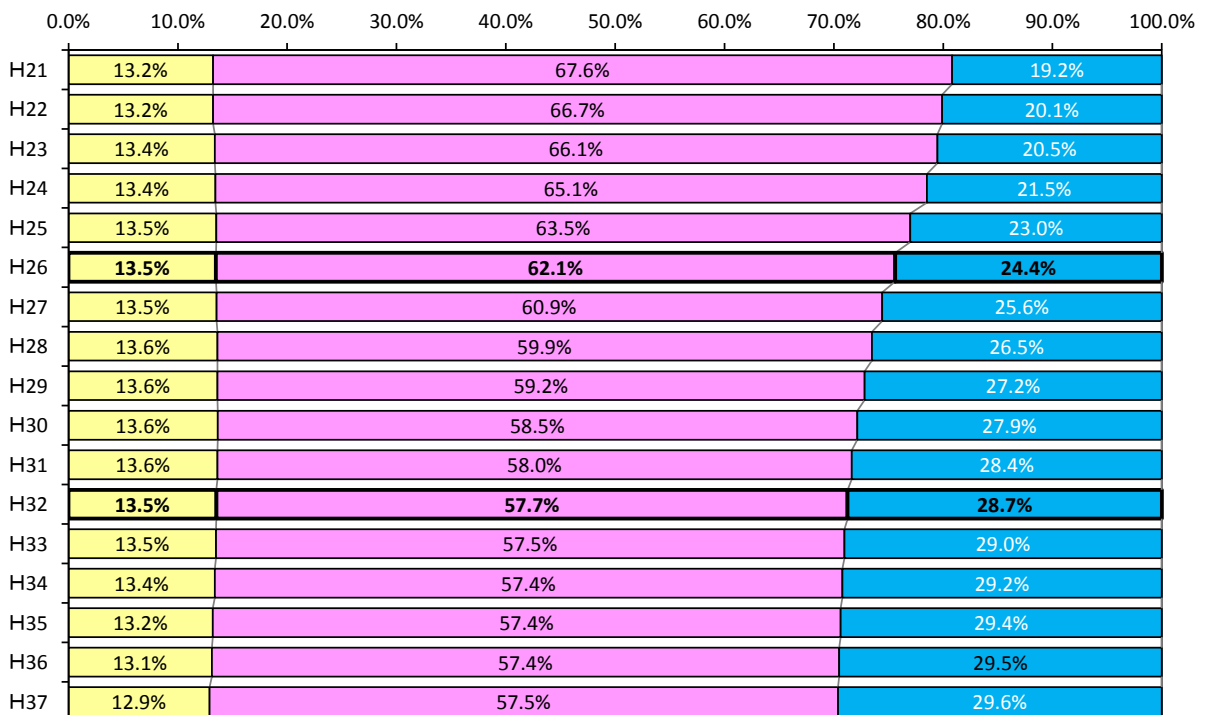


	実績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	37,776	38,163	38,757	39,149	39,435	40,156
年少人口 (0～14歳)	4,993 13.2%	5,046 13.2%	5,182 13.4%	5,257 13.4%	5,330 13.5%	5,416 13.5%
生産年齢人口 (15～64歳)	25,539 67.6%	25,450 66.7%	25,624 66.1%	25,476 65.1%	25,033 63.5%	24,945 62.1%
老年人口 (65歳以上)	7,244 19.2%	7,667 20.1%	7,951 20.5%	8,416 21.5%	9,072 23.0%	9,795 24.4%
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,494 6.6%	2,688 7.0%	2,888 7.5%	3,090 7.9%	3,335 8.5%	3,584 8.9%

	推計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	40,600	41,025	41,420	41,791	42,128	42,434	42,712	42,958	43,178	43,351	43,499
年少人口 (0～14歳)	5,498 13.5%	5,586 13.6%	5,645 13.6%	5,700 13.6%	5,740 13.6%	5,738 13.5%	5,765 13.5%	5,748 13.4%	5,697 13.2%	5,683 13.1%	5,610 12.9%
生産年齢人口 (15～64歳)	24,713 60.9%	24,556 59.9%	24,518 59.2%	24,452 58.5%	24,439 58.0%	24,502 57.7%	24,547 57.5%	24,661 57.4%	24,802 57.4%	24,876 57.4%	25,005 57.5%
老年人口 (65歳以上)	10,389 25.6%	10,883 26.5%	11,257 27.2%	11,639 27.9%	11,949 28.4%	12,194 28.7%	12,400 29.0%	12,549 29.2%	12,679 29.4%	12,792 29.5%	12,884 29.6%
後期高齢者人口 (75歳以上)	3,821 9.4%	4,118 10.0%	4,487 10.8%	4,872 11.7%	5,312 12.6%	5,614 13.2%	5,830 13.6%	6,180 14.4%	6,678 15.5%	7,134 16.5%	7,537 17.3%



■ 年少人口 (0~14歳)
 ■ 生産年齢人口 (15~64歳)
 ■ 老年人口 (65歳以上)

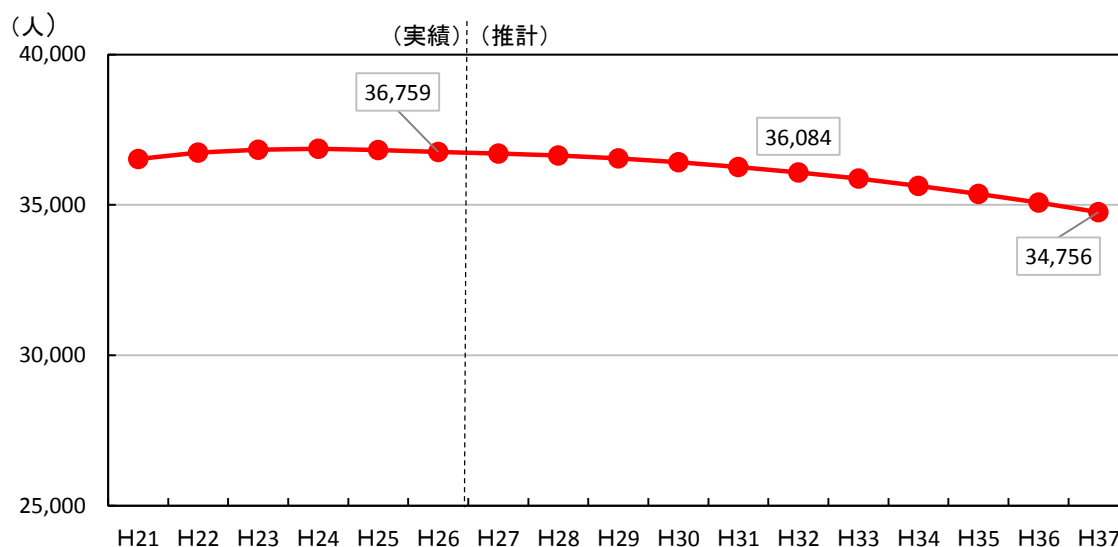


■ 年少人口 (0~14歳)
 ■ 生産年齢人口 (15~64歳)
 ■ 老年人口 (65歳以上)

(4) 志津地区（南部）

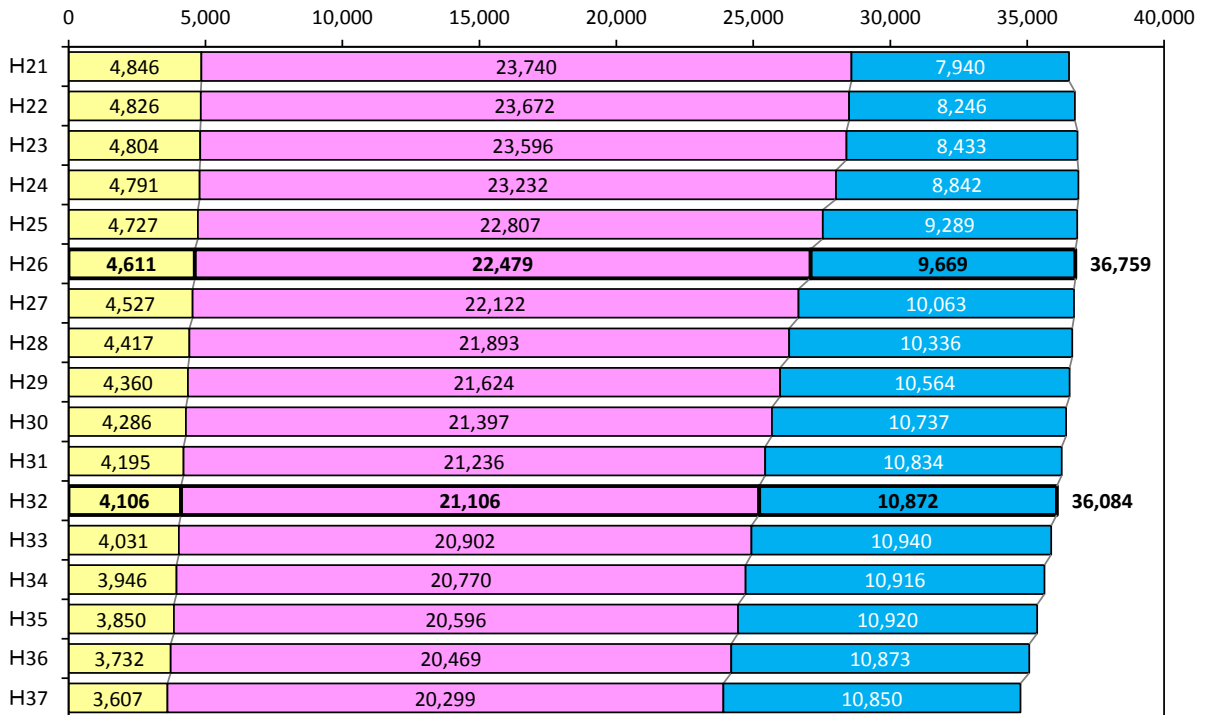
総人口は減少基調だが、平成26年36,759人から、平成32年36,084人（平成26年比▲6,755人）、平成37年34,756人（同比▲2,003人）と他の地区に比べて緩やかな減少に留まることが予想される。

平成26年から平成37年にかけて、年少人口と生産年齢人口が合計3,184人減少する一方、老年人口は1,181人増加するものの、平成37年時点の老年人口比率（31.2%）は、市全体の比率（33.6%）を下回る見込み。

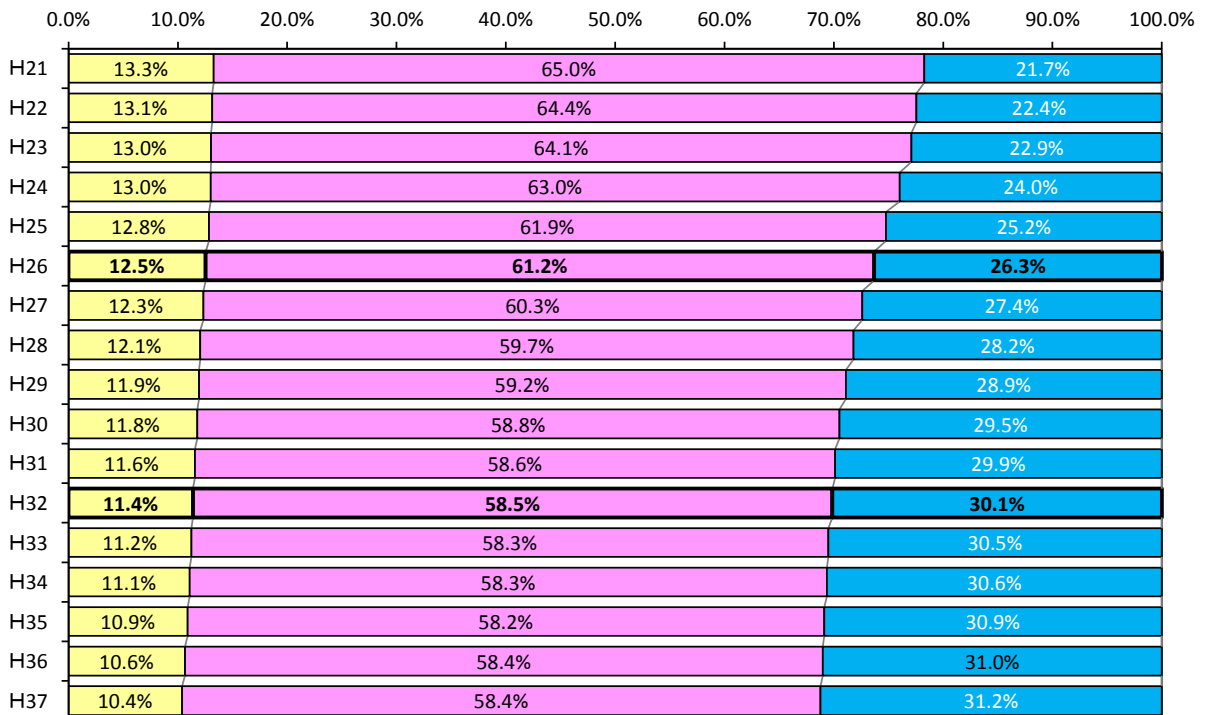


	実 績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	36,526	36,744	36,833	36,865	36,823	36,759
年少人口 (0～14歳)	4,846 13.3%	4,826 13.1%	4,804 13.0%	4,791 13.0%	4,727 12.8%	4,611 12.5%
生産年齢人口 (15～64歳)	23,740 65.0%	23,672 64.4%	23,596 64.1%	23,232 63.0%	22,807 61.9%	22,479 61.2%
老年人口 (65歳以上)	7,940 21.7%	8,246 22.4%	8,433 22.9%	8,842 24.0%	9,289 25.2%	9,669 26.3%
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,590 7.1%	2,842 7.7%	3,104 8.4%	3,394 9.2%	3,687 10.0%	3,972 10.8%

	推 計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	36,712	36,646	36,548	36,420	36,265	36,084	35,873	35,632	35,366	35,074	34,756
年少人口 (0～14歳)	4,527 12.3%	4,417 12.1%	4,360 11.9%	4,286 11.8%	4,195 11.6%	4,106 11.4%	4,031 11.2%	3,946 11.1%	3,850 10.9%	3,732 10.6%	3,607 10.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	22,122 60.3%	21,893 59.7%	21,624 59.2%	21,397 58.8%	21,236 58.6%	21,106 58.5%	20,902 58.3%	20,770 58.3%	20,596 58.2%	20,469 58.4%	20,299 58.4%
老年人口 (65歳以上)	10,063 27.4%	10,336 28.2%	10,564 28.9%	10,737 29.5%	10,834 29.9%	10,872 30.1%	10,940 30.5%	10,916 30.6%	10,920 30.9%	10,873 31.0%	10,850 31.2%
後期高齢者人口 (75歳以上)	4,243 11.6%	4,604 12.6%	4,964 13.6%	5,285 14.5%	5,578 15.4%	5,771 16.0%	5,830 16.3%	6,033 16.9%	6,315 17.9%	6,538 18.6%	6,732 19.4%



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

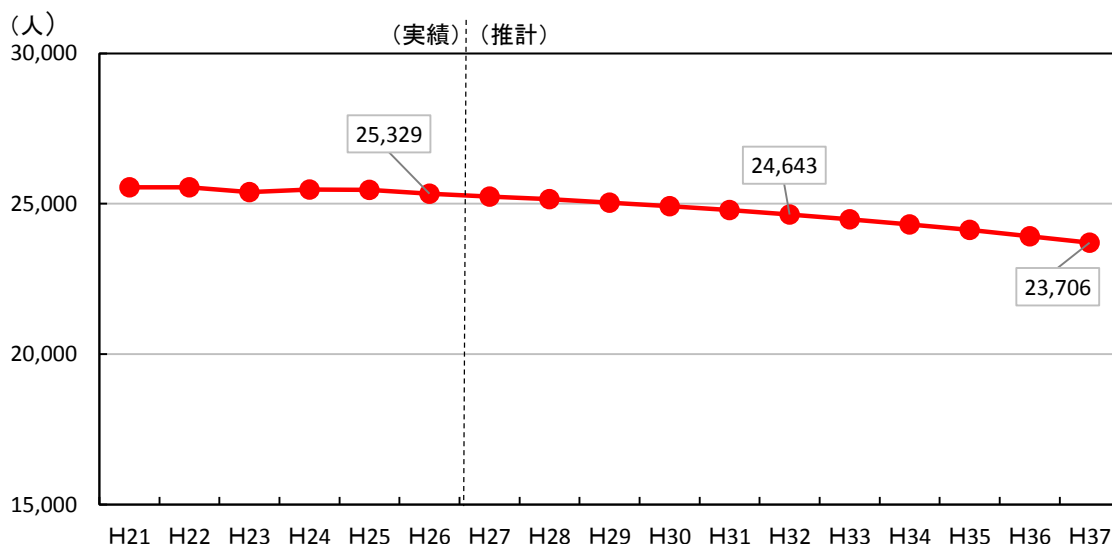


■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

(5) 根郷地区

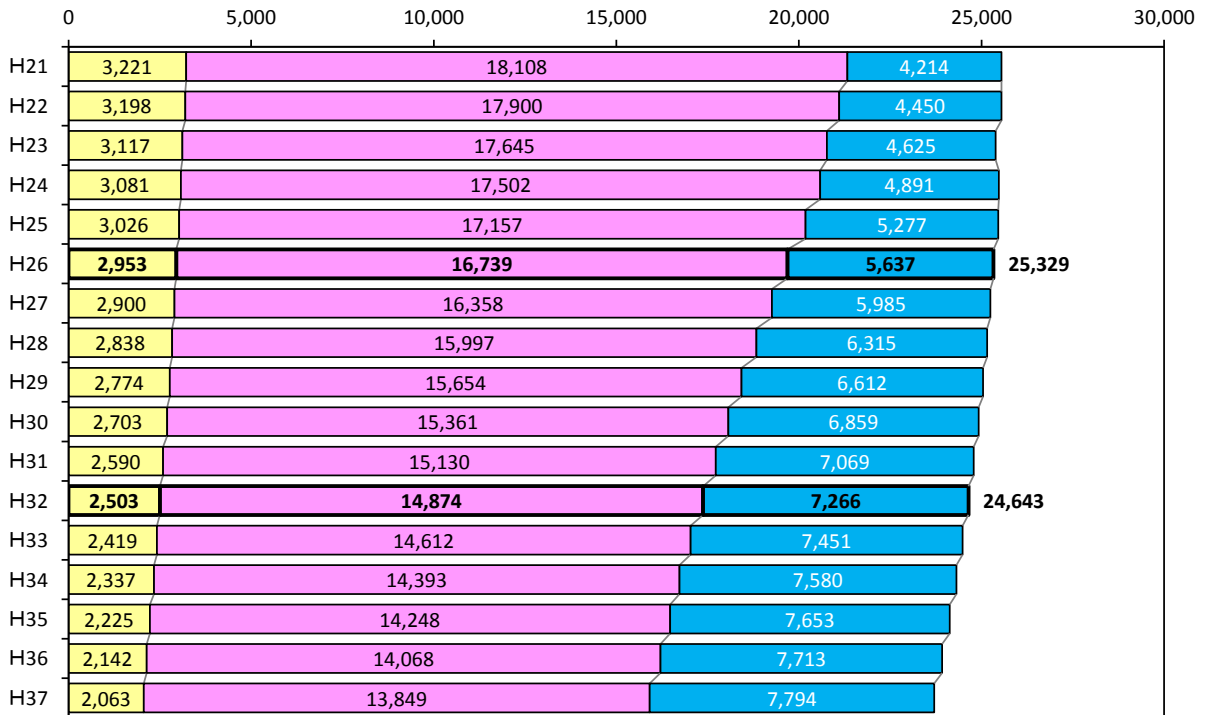
総人口は、平成26年25,329人から、平成32年24,643人（平成26年比▲686人）、平成37年23,706人（同比▲1,623人）と緩やかな減少基調となる見込み。

平成26年から平成37年にかけて、年少人口と生産年齢人口が合計3,780人減少する一方、老年人口は2,157人の増加が見込まれる。

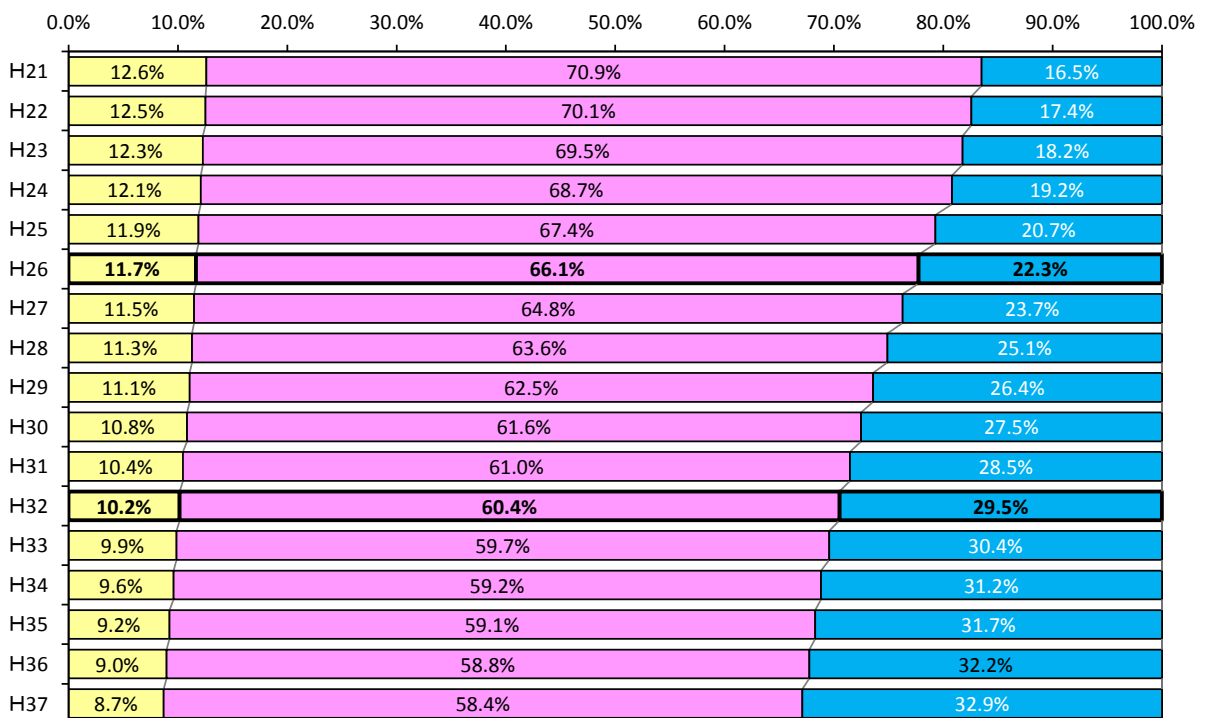


	実 績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	25,543	25,548	25,387	25,474	25,460	25,329
年少人口 (0~14歳)	3,221 12.6%	3,198 12.5%	3,117 12.3%	3,081 12.1%	3,026 11.9%	2,953 11.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	18,108 70.9%	17,900 70.1%	17,645 69.5%	17,502 68.7%	17,157 67.4%	16,739 66.1%
老年人口 (65歳以上)	4,214 16.5%	4,450 17.4%	4,625 18.2%	4,891 19.2%	5,277 20.7%	5,637 22.3%
後期高齢者人口 (75歳以上)	1,634 6.4%	1,744 6.8%	1,848 7.3%	1,980 7.8%	2,085 8.2%	2,152 8.5%

	推 計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	25,243	25,150	25,040	24,923	24,789	24,643	24,482	24,310	24,126	23,923	23,706
年少人口 (0~14歳)	2,900 11.5%	2,838 11.3%	2,774 11.1%	2,703 10.8%	2,590 10.4%	2,503 10.2%	2,419 9.9%	2,337 9.6%	2,225 9.2%	2,142 9.0%	2,063 8.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	16,358 64.8%	15,997 63.6%	15,654 62.5%	15,361 61.6%	15,130 61.0%	14,874 60.4%	14,612 59.7%	14,393 59.2%	14,248 59.1%	14,068 58.8%	13,849 58.4%
老年人口 (65歳以上)	5,985 23.7%	6,315 25.1%	6,612 26.4%	6,859 27.5%	7,069 28.5%	7,266 29.5%	7,451 30.4%	7,580 31.2%	7,653 31.7%	7,713 32.2%	7,794 32.9%
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,230 8.8%	2,367 9.4%	2,519 10.1%	2,695 10.8%	2,882 11.6%	2,999 12.2%	3,111 12.7%	3,280 13.5%	3,568 14.8%	3,852 16.1%	4,091 17.3%



■ 少年人口 (0~14歳)
 ■ 生産年齢人口 (15~64歳)
 ■ 老年人口 (65歳以上)

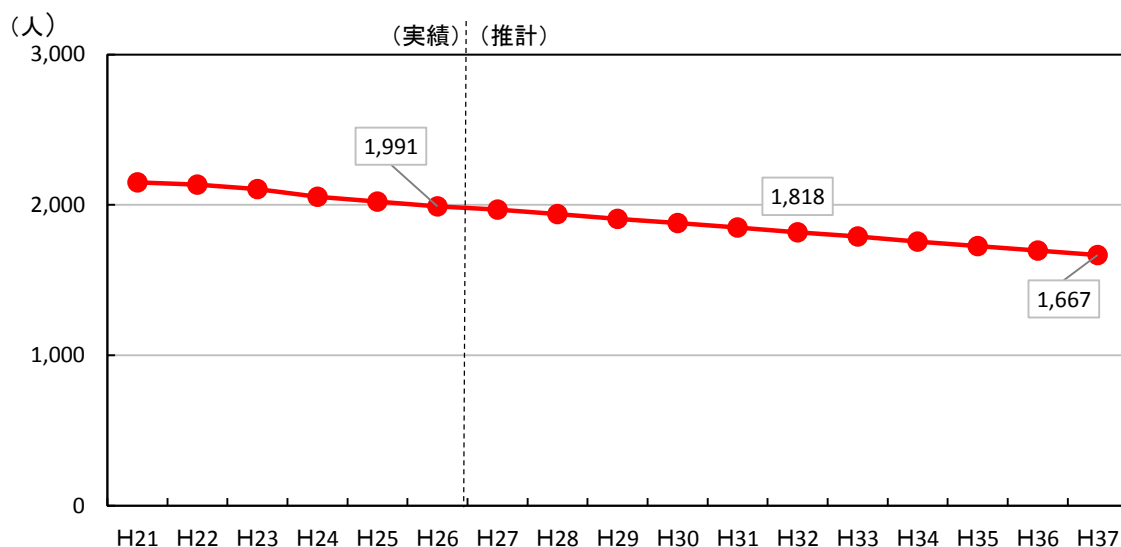


■ 少年人口 (0~14歳)
 ■ 生産年齢人口 (15~64歳)
 ■ 老年人口 (65歳以上)

(6) 和田地区

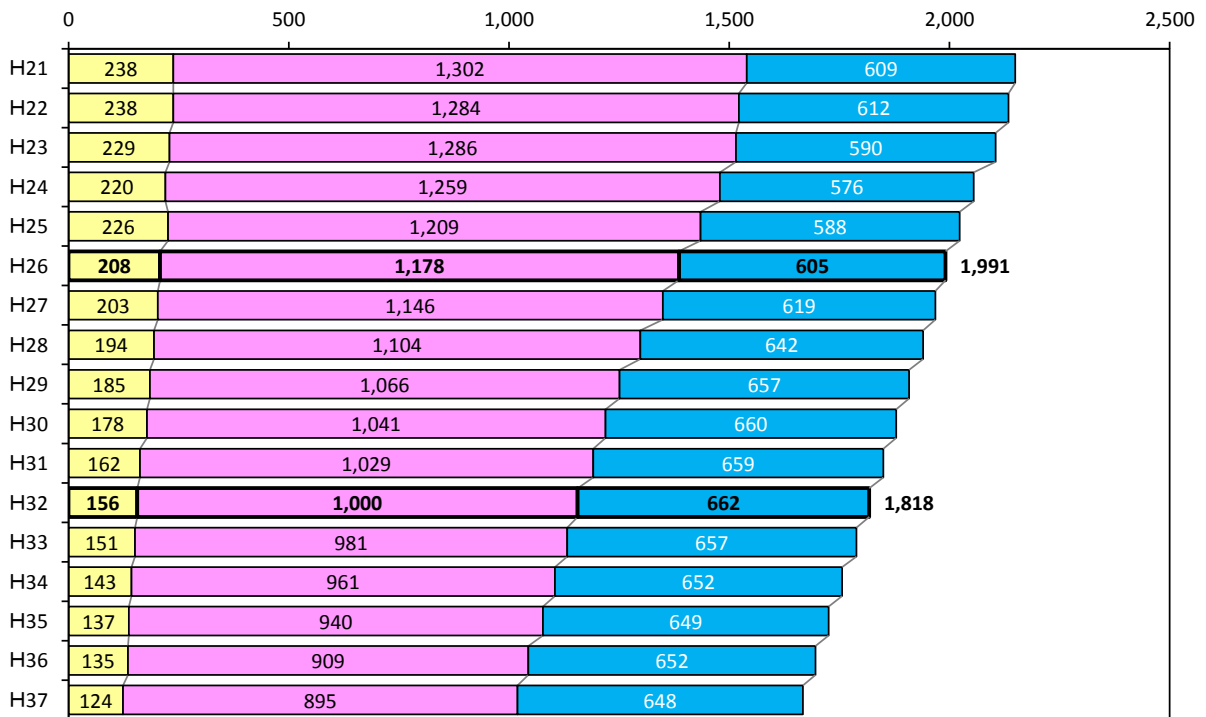
大半が市街化調整区域であり、人口が少ない地域。総人口は、平成26年1,991人から、平成32年1,818人（平成26年比▲173人）、平成37年1,667人（同比▲324人）と減少していく見込み。

平成26年から平成37年にかけて、年少人口と生産年齢人口が合計367人減少し、老年人口が43人増加することにより、平成26年時点でも老年人口比率は30.4%と高いが、平成37年には38.9%まで上昇することが見込まれる。

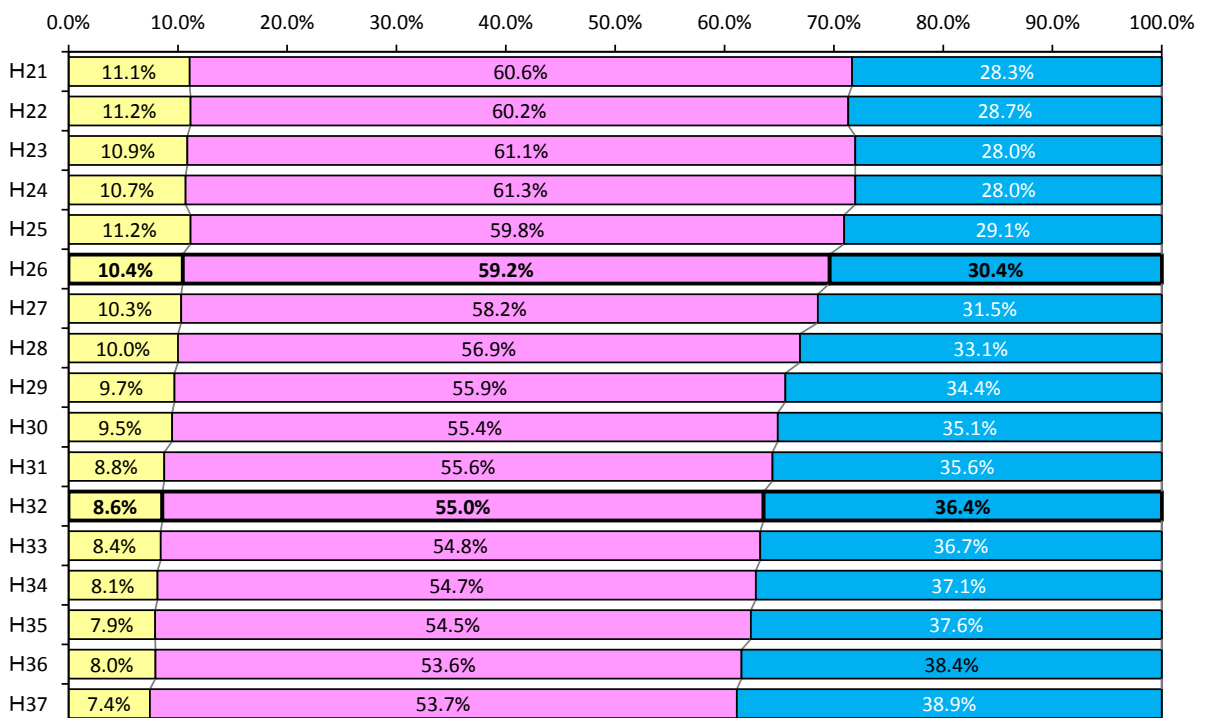


	実績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	2,149	2,134	2,105	2,055	2,023	1,991
年少人口 (0~14歳)	238	238	229	220	226	208
	11.1%	11.2%	10.9%	10.7%	11.2%	10.4%
生産年齢人口 (15~64歳)	1,302	1,284	1,286	1,259	1,209	1,178
	60.6%	60.2%	61.1%	61.3%	59.8%	59.2%
老年人口 (65歳以上)	609	612	590	576	588	605
	28.3%	28.7%	28.0%	28.0%	29.1%	30.4%
後期高齢者人口 (75歳以上)	340	342	329	323	321	319
	15.8%	16.0%	15.6%	15.7%	15.9%	16.0%

	推計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	1,968	1,940	1,908	1,879	1,850	1,818	1,789	1,756	1,726	1,696	1,667
年少人口 (0~14歳)	203	194	185	178	162	156	151	143	137	135	124
	10.3%	10.0%	9.7%	9.5%	8.8%	8.6%	8.4%	8.1%	7.9%	8.0%	7.4%
生産年齢人口 (15~64歳)	1,146	1,104	1,066	1,041	1,029	1,000	981	961	940	909	895
	58.2%	56.9%	55.9%	55.4%	55.6%	55.0%	54.8%	54.7%	54.5%	53.6%	53.7%
老年人口 (65歳以上)	619	642	657	660	659	662	657	652	649	652	648
	31.5%	33.1%	34.4%	35.1%	35.6%	36.4%	36.7%	37.1%	37.6%	38.4%	38.9%
後期高齢者人口 (75歳以上)	317	312	321	316	315	311	300	293	309	315	329
	16.1%	16.1%	16.8%	16.8%	17.0%	17.1%	16.8%	16.7%	17.9%	18.6%	19.7%



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

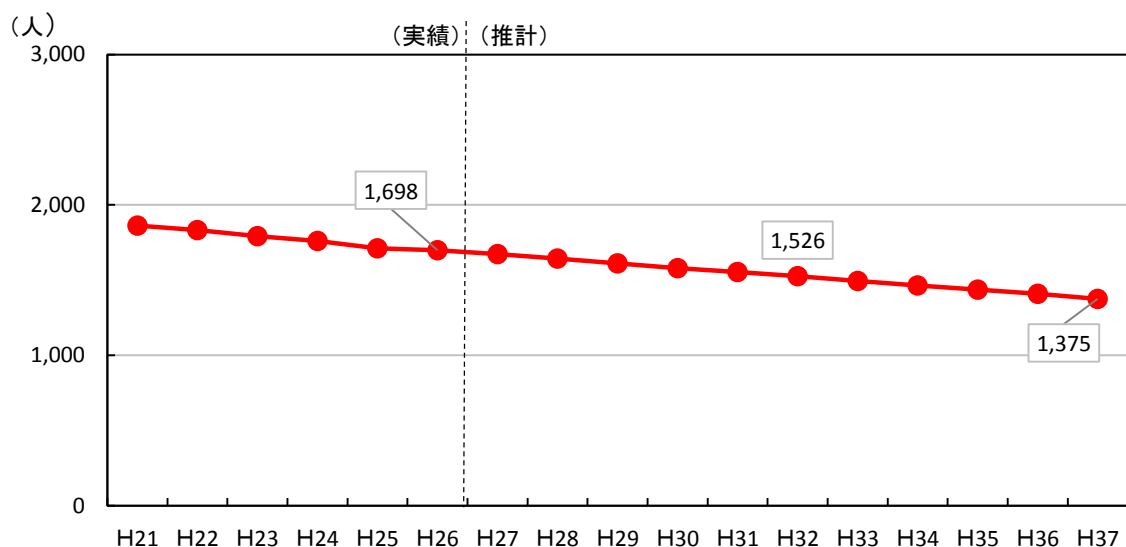


■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

(7) 弥富地区

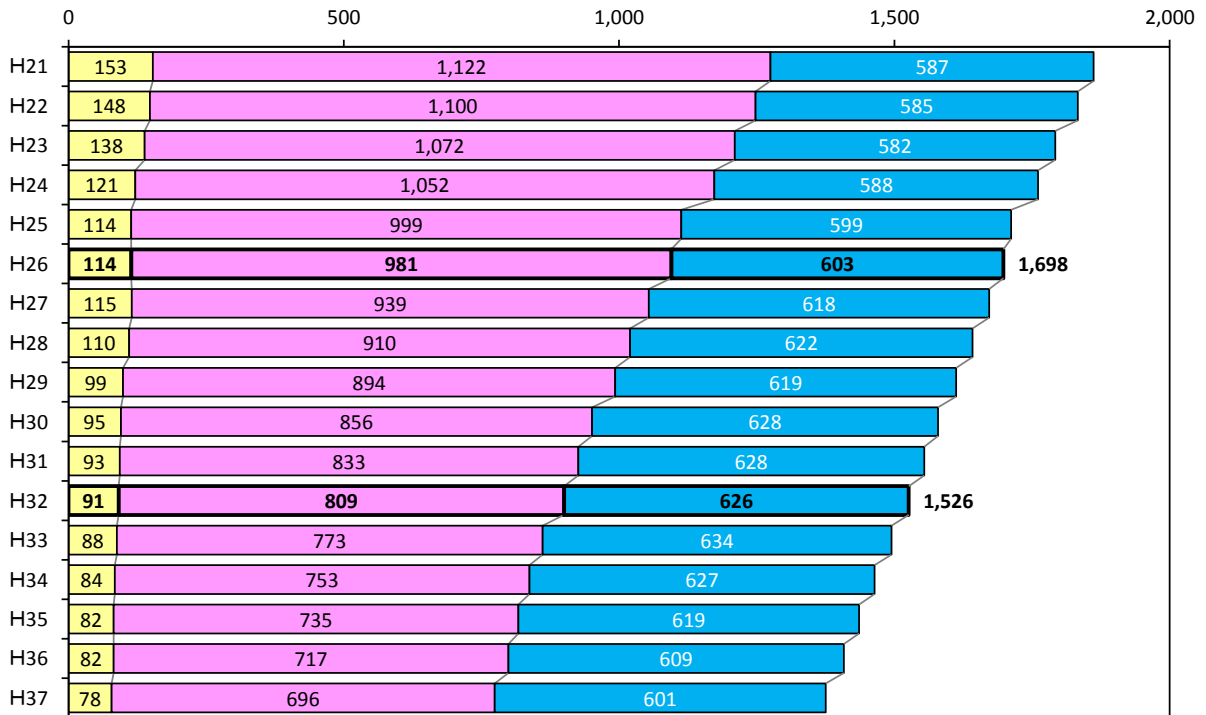
和田地区同様、大半が市街化調整区域であり、人口が少ない地域。総人口は、平成26年1,698人から、平成32年1,526人（平成26年比▲172人）、平成37年1,375人（同比▲323人）と減少していく見込み。

平成37年の老年人口は平成26年とほぼ同数だが、年少人口と生産年齢人口が合計321人減少するため、老年人口比率は8地区内で最も高い43.7%となることが見込まれる。

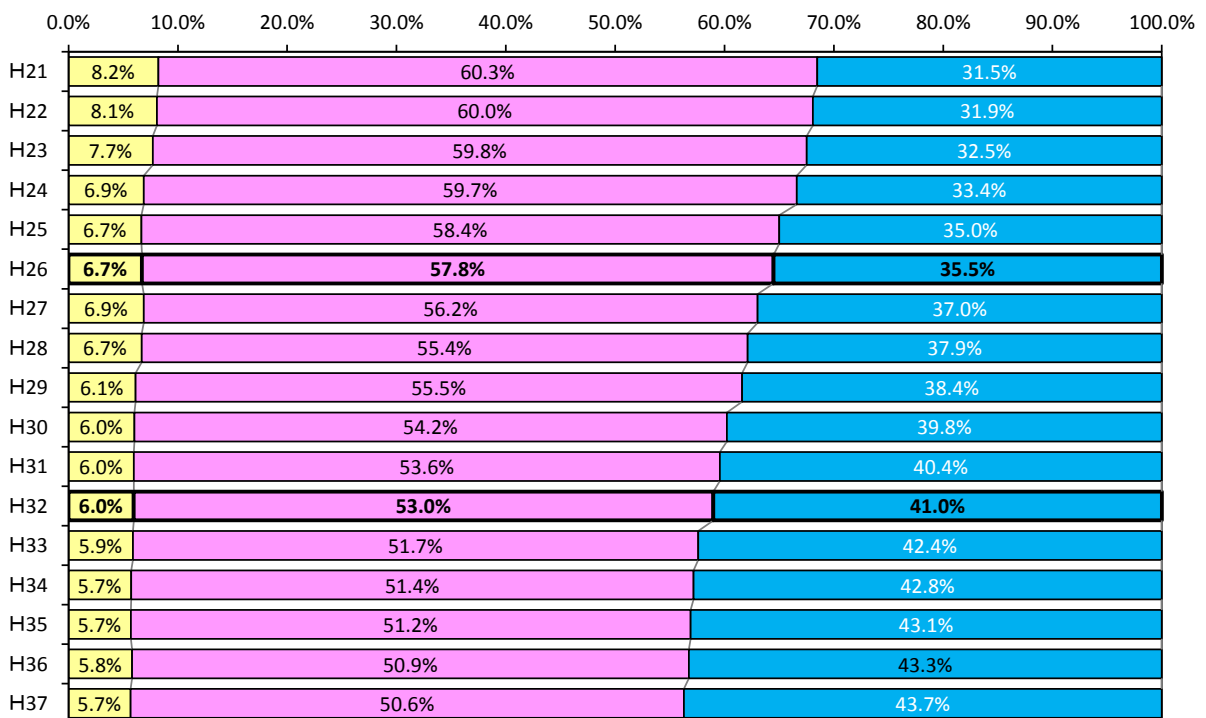


	実績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	1,862	1,833	1,792	1,761	1,712	1,698
年少人口 (0~14歳)	153	148	138	121	114	114
	8.2%	8.1%	7.7%	6.9%	6.7%	6.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	1,122	1,100	1,072	1,052	999	981
	60.3%	60.0%	59.8%	59.7%	58.4%	57.8%
老年人口 (65歳以上)	587	585	582	588	599	603
	31.5%	31.9%	32.5%	33.4%	35.0%	35.5%
後期高齢者人口 (75歳以上)	343	345	351	338	336	320
	18.4%	18.8%	19.6%	19.2%	19.6%	18.8%

	推計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	1,672	1,642	1,612	1,579	1,554	1,526	1,495	1,464	1,436	1,408	1,375
年少人口 (0~14歳)	115	110	99	95	93	91	88	84	82	82	78
	6.9%	6.7%	6.1%	6.0%	6.0%	6.0%	5.9%	5.7%	5.7%	5.8%	5.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	939	910	894	856	833	809	773	753	735	717	696
	56.2%	55.4%	55.5%	54.2%	53.6%	53.0%	51.7%	51.4%	51.2%	50.9%	50.6%
老年人口 (65歳以上)	618	622	619	628	628	626	634	627	619	609	601
	37.0%	37.9%	38.4%	39.8%	40.4%	41.0%	42.4%	42.8%	43.1%	43.3%	43.7%
後期高齢者人口 (75歳以上)	325	318	303	301	304	297	288	296	307	318	330
	19.4%	19.4%	18.8%	19.1%	19.6%	19.5%	19.3%	20.2%	21.4%	22.6%	24.0%



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)



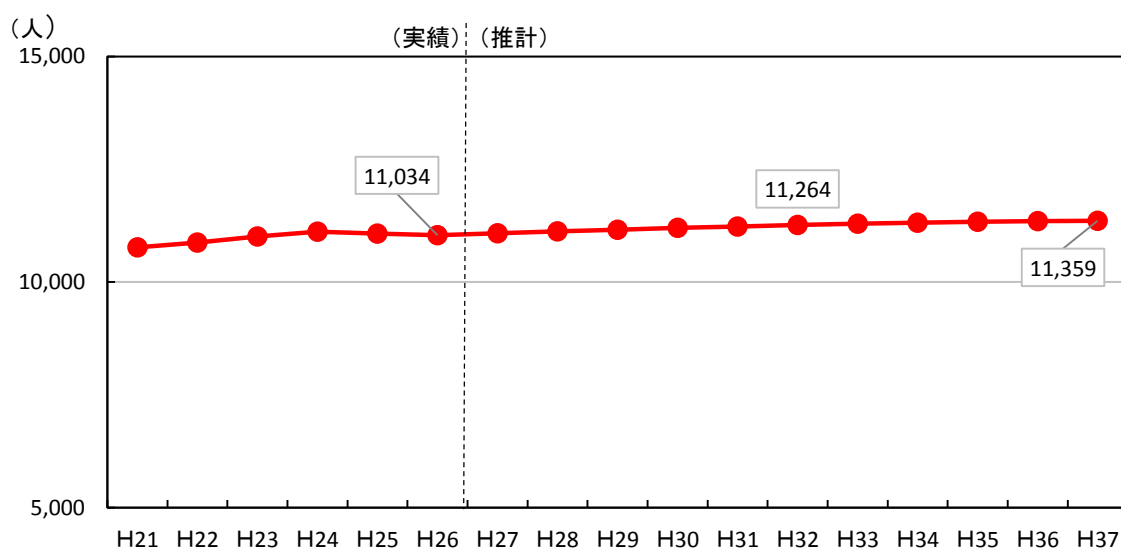
■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)

(8) 千代田地区

総人口は、平成26年11,034人から、平成32年11,264人（平成26年比+230人）、平成37年11,359人（同比+325人）とわずかに増加する見込み。

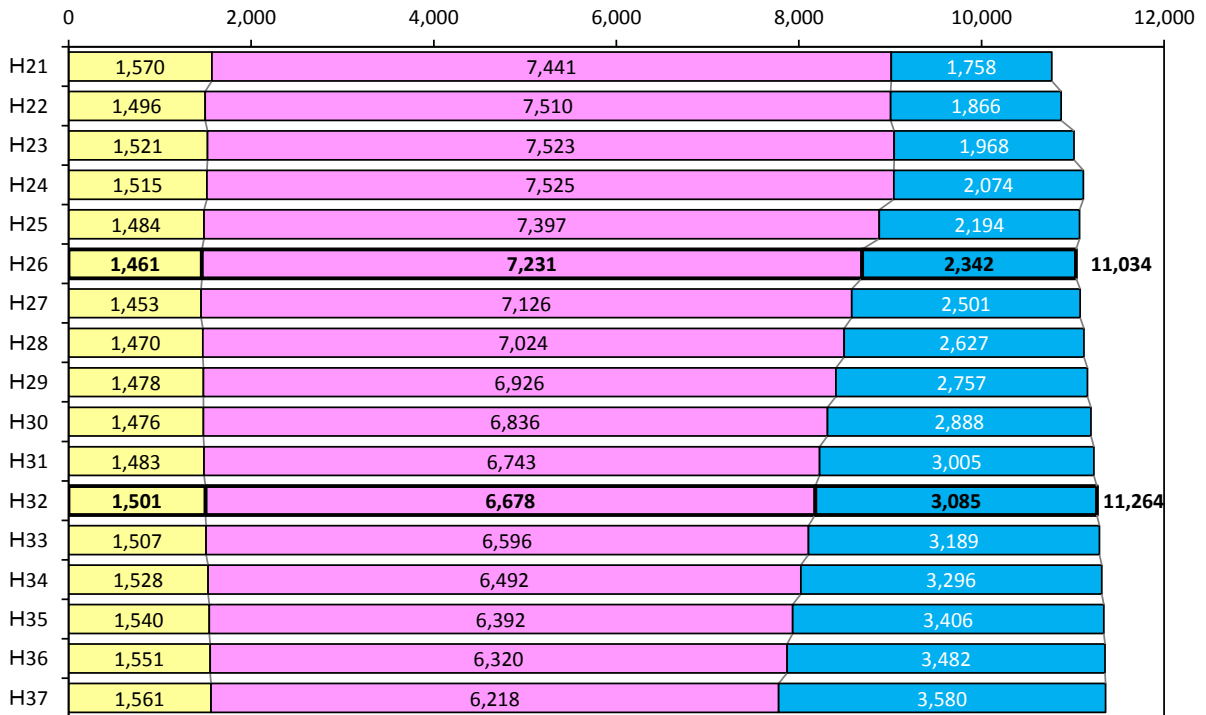
（直近の人口推移において、20代が転出等により減少しているものの、子育て世代の転入がその減少分をカバーする状況が続いており、この趨勢に基づき、人口が微増する推計結果となったもの）

ただ、平成26年から平成37年にかけて老年人口が1,238人増加するため、平成26年時点では老年人口比率21.2%と8地区で最も低かったが、平成37年には志津地区（北部）、志津地区（南部）に次ぐ31.5%へ上昇することが見込まれる。

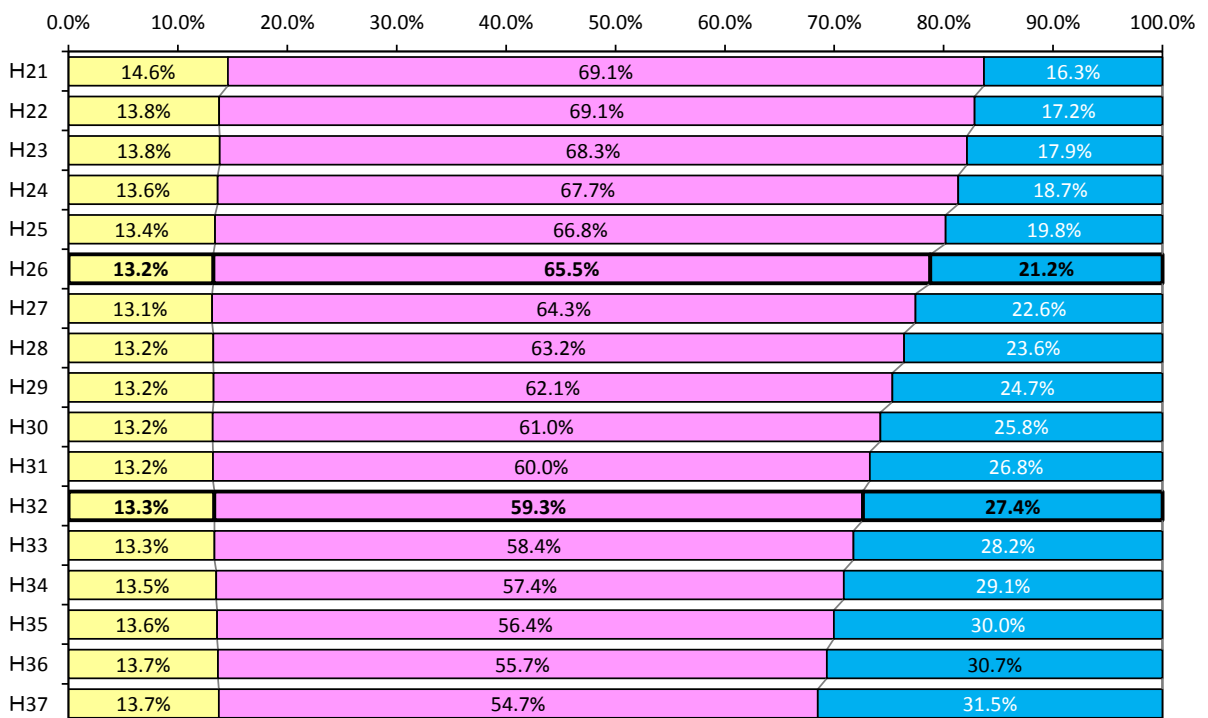


	実績					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総数	10,769	10,872	11,012	11,114	11,075	11,034
年少人口 (0~14歳)	1,570 14.6%	1,496 13.8%	1,521 13.8%	1,515 13.6%	1,484 13.4%	1,461 13.2%
生産年齢人口 (15~64歳)	7,441 69.1%	7,510 69.1%	7,523 68.3%	7,525 67.7%	7,397 66.8%	7,231 65.5%
老年人口 (65歳以上)	1,758 16.3%	1,866 17.2%	1,968 17.9%	2,074 18.7%	2,194 19.8%	2,342 21.2%
後期高齢者人口 (75歳以上)	743 6.9%	781 7.2%	851 7.7%	919 8.3%	954 8.6%	991 9.0%

	推計										
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
総数	11,080	11,121	11,161	11,200	11,231	11,264	11,292	11,316	11,338	11,353	11,359
年少人口 (0~14歳)	1,453 13.1%	1,470 13.2%	1,478 13.2%	1,476 13.2%	1,483 13.2%	1,501 13.3%	1,507 13.3%	1,528 13.5%	1,540 13.6%	1,551 13.7%	1,561 13.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	7,126 64.3%	7,024 63.2%	6,926 62.1%	6,836 61.0%	6,743 60.0%	6,678 59.3%	6,596 58.4%	6,492 57.4%	6,392 56.4%	6,320 55.7%	6,218 54.7%
老年人口 (65歳以上)	2,501 22.6%	2,627 23.6%	2,757 24.7%	2,888 25.8%	3,005 26.8%	3,085 27.4%	3,189 28.2%	3,296 29.1%	3,406 30.0%	3,482 30.7%	3,580 31.5%
後期高齢者人口 (75歳以上)	1,037 9.4%	1,108 10.0%	1,167 10.5%	1,225 10.9%	1,309 11.7%	1,378 12.2%	1,436 12.7%	1,513 13.4%	1,621 14.3%	1,725 15.2%	1,838 16.2%



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)



■ 年少人口 (0~14歳)
■ 生産年齢人口 (15~64歳)
■ 老年人口 (65歳以上)